

基本計画書

| 基本計画 | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|-------------|--------------|------------|--------------|----------------|-----------------------------------|-----------------|-------------|--|
| 事項 | 記入欄 | | | | | | | | 備考 | |
| 計画の区分 | 大学の収容定員に係る学則変更 | | | | | | | | | |
| フリガナ設置者 | ガッコウホウジン カワサキガクエン 学校法人 河崎学園 | | | | | | | | | |
| フリガナ大学の名称 | オオサカカワサキリハビリテーションダイガク 大阪河崎リハビリテーション大学 | | | | | | | | | |
| 大学本部の位置 | 大阪府貝塚市水間158 | | | | | | | | | |
| 大学の目的 | 建学の精神「夢と大慈大悲」と教育理念「知育と人間性を育む」に則り、リハビリテーションに関する高度な知識、技術の教育・研究を通じて豊かな人間性を養い広く国民の保健・医療・福祉の向上に寄与することのできる有能な人材を育成することを目的とする。 | | | | | | | | | |
| 新設学部等の目的 | リハビリテーション学部リハビリテーション学科は、18歳人口減少に対する影響が大きく、入学定員確保は満たせていない。収容定員の充足率を改善し、教育の質をさらに向上し充実させるために入学定員の減員を行う。 | | | | | | | | | |
| 新設学部等の概要 | 新設学部等の名称 | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | 学位 | 学位の分野 | 開設時期及び開設年次 | 所在地 | |
| | リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 | 年 | 人 | 年次 人 | 人 | | | 年 月 第 年次 | | |
| | 理学療法学専攻 | 4 | 60 (60) | — | 240 (240) | 学士（リハビリテーション学） | 保健衛生学関係 （リハビリテーション学関係） | 平成18年4月 第1年次 | 大阪府貝塚市水間158 | |
| | 作業療法学専攻 | 4 | 50 (60) | — | 200 (240) | 学士（リハビリテーション学） | 保健衛生学関係 （リハビリテーション学関係） | 令和7年4月 第1年次 | 同上 | |
| | 言語聴覚学専攻 | 4 | 30 (40) | — | 120 (160) | 学士（リハビリテーション学） | 保健衛生学関係 （リハビリテーション学関係） | 令和7年4月 第1年次 | 同上 | |
| | 計 | 4 | 140 (160) | — | 560 (640) | | | | | |
| 同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等） | | | | | | | | | | |
| 教育課程 | 新設学部等の名称 | 開設する授業科目の総数 | | | | 卒業要件単位数 | | | | |
| | | 講義 | 演習 | 実験・実習 | 計 | | | | | |
| | | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 単位 | | | | |
| 学部等の名称 | 基幹教員 | | | | | 助手 | 基幹教員以外の教員 （助手を除く） | | | |
| | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計 | | | | | |
| 新設 | リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 | 14 (14) | 6 (6) | 14 (14) | 5 (5) | 39 (39) | 0 (0) | 62 (62) | | |
| | a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの | 9 (9) | 3 (3) | 9 (9) | 3 (3) | 24 (24) | 大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 12人 | | | |
| | b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く） | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | | | | |
| | 小計（a～b） | 9 (9) | 3 (3) | 9 (9) | 3 (3) | 24 (24) | | | | |
| | c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く） | 5 (5) | 3 (3) | 5 (5) | 2 (2) | 15 (15) | | | | |
| | d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く） | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | | | | |
| 計（a～d） | 14 (14) | 6 (6) | 14 (14) | 5 (5) | 39 (39) | | | | | |
| 分 | 計 | 14 (14) | 6 (6) | 14 (14) | 5 (5) | 39 (39) | 0 (0) | 62 (62) | | |

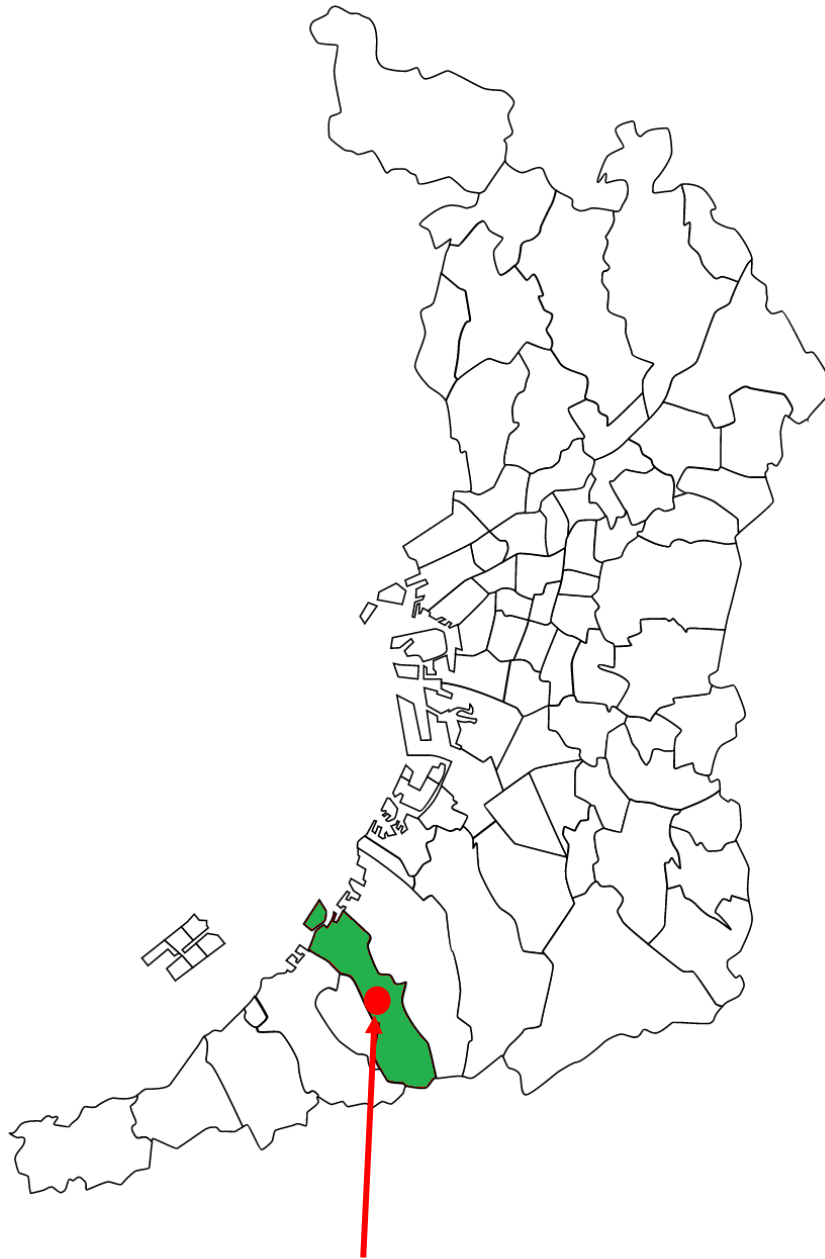
| | | | | | | | | | | |
|-----------------------|---|----------------------------|------------------|------------------|--------------------|----------------------------|----------|--|-----|--|
| 既 設 分 | 該当なし | | - | - | - | - | - | - | - | 大学設置基準別 表第一イに定め る基幹教員数の 四分の三の数 〇〇人 |
| | a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの | | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | |
| | b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの(aに該当する者を除く) | | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | |
| | 小計(a~b) | | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | |
| | c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの(a又はbに該当する者を除く) | | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | |
| | d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事 する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの(a、b又はcに該当する者を除く) | | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | |
| | 計(a~d) | | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | |
| 計 | | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) | | |
| 合 計 | | 14 (14) | 6 (6) | 14 (14) | 5 (5) | 39 (39) | 0 (0) | 62 (62) | | |
| 職 種 | | 専 属 | | そ の 他 | | 計 | | | | |
| 事 務 職 員 | | 27 (27) | | 1 (1) | | 28 (28) | | | | |
| 技 術 職 員 | | 0 (0) | | 0 (0) | | 0 (0) | | | | |
| 図 書 館 職 員 | | 2 (2) | | 2 (2) | | 4 (4) | | | | |
| そ の 他 の 職 員 | | 0 (0) | | 2 (2) | | 2 (2) | | | | |
| 指 導 補 助 者 | | 0 (0) | | 0 (0) | | 0 (0) | | | | |
| 計 | | 29 (29) | | 5 (5) | | 34 (34) | | | | |
| 校 地 等 | 区 分 | 専 用 | 共 用 | 共用する他の 学校等の専用 | | 計 | | | | |
| | 校 舎 敷 地 | 13,776.10㎡ | 0㎡ | 0㎡ | | 13,776.10㎡ | | 借用6,795㎡ (1,200㎡ : R14.3.31ま で以後使用 保証有 331㎡及び 5,264㎡ : R30.11.30ま で) | | |
| | そ の 他 | 262.00㎡ | 0㎡ | 0㎡ | | 262.00㎡ | | | | |
| | 合 計 | 14,038.10㎡ | 0㎡ | 0㎡ | | 14,038.10㎡ | | | | |
| 校 舎 | 専 用 | 共 用 | 共用する他の 学校等の専用 | | 計 | | | | | |
| | | 11,540.44㎡ (11,540.44㎡) | 0㎡ (0㎡) | 0㎡ (0㎡) | | 11,540.44㎡ (11,540.44㎡) | | | | |
| 教室・教員研究室 | | 教 室 | 室 | 教 員 研 究 室 | 室 | | | | | |
| 図 書 ・ 設 備 | 新設学部等の名称 | 図書 〔うち外国書〕 | | 学術雑誌 〔うち外国書〕 | | 機械・器具 | 標本 | | | |
| | | 冊 | 電子図書 〔うち外国書〕 | 種 | 電子ジャーナル 〔うち外国書〕 | 点 | 点 | | | |
| | 計 | () | () | () | () | () | () | | | |
| スポーツ施設等 | | スポーツ施設 | | 講堂 | | 厚生補導施設 | | | | |
| | | ㎡ | | ㎡ | | ㎡ | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-----------------|------------------------------|--------------------------|------------|------------|------------|----------------|-------------|-------------|-------------|
| 経費の見積り及び維持方法の概要 | 区分 | 開設前年度 | 第1年次 | 第2年次 | 第3年次 | 第4年次 | 第5年次 | 第6年次 | |
| | 教員1人当り研究費等 | | 400千円 | 400千円 | 400千円 | 400千円 | －千円 | －千円 | |
| | 共同研究費等 | | 3,000千円 | 3,000千円 | 3,000千円 | 3,000千円 | －千円 | －千円 | |
| | 図書購入費 | 8,000千円 | 8,000千円 | 8,000千円 | 8,000千円 | 8,000千円 | －千円 | －千円 | |
| | 設備購入費 | 19,681千円 | 14,000千円 | 14,000千円 | 14,000千円 | 14,000千円 | －千円 | －千円 | |
| | 学生1人当り納付金 | | 第1年次 千円 | 第2年次 千円 | 第3年次 千円 | 第4年次 千円 | 第5年次 －千円 | 第6年次 －千円 | |
| 学生納付金以外の維持方法の概要 | | 私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入等 | | | | | | | |
| 既設大学の状況 | 大学の名称 | 大阪河崎リハビリテーション大学 | | | | | | | |
| | 学部等の名称 | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | 学位又は称号 | 収容定員充足率 | 開設年度 | 所在地 |
| | リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 | 年 | 人 | 年次人 | 人 | 学士(リハビリテーション学) | 0.57 | 平成18年度 | 大阪府貝塚市水間158 |
| | リハビリテーション研究科 リハビリテーション学専攻 | 2 | 8 | － | 16 | 修士(リハビリテーション学) | 0.62 | 令和4年度 | |
| 附属施設の概要 | | | | | | | | | |

学校法人河崎学園 収容定員変更に係る届出の組織の移行表

| 令和6年度 | 入学 | 編入学 | 収容 | 令和7年度 | 入学 | 編入学 | 収容 | 変更の事由 | |
|--------------------|-----------------|-----|-----|--------------------|----|-----------------|-----|-------|---------------|
| | 定員 | 定員 | 定員 | | 定員 | 定員 | 定員 | | |
| 大阪河崎リハビリテーション大学 | | | | 大阪河崎リハビリテーション大学 | | | | | |
| リハビリテーション学部 | | | | リハビリテーション学部 | | | | | |
| リハビリテーション学科 | | | | リハビリテーション学科 | | | | | |
| | | 2年次 | | | | 2年次 | | | |
| | 理学療法学専攻 | 60 | 若干名 | 240 | | 理学療法学専攻 | 60 | 若干名 | 240 |
| | 作業療法学専攻 | 60 | 若干名 | 240 | | 作業療法学専攻 | 50 | 若干名 | 200 定員変更(△10) |
| | 言語聴覚学専攻 | 40 | 若干名 | 160 | | 言語聴覚学専攻 | 30 | 若干名 | 120 定員変更(△10) |
| | 計 | 160 | 若干名 | 640 | | 計 | 140 | 若干名 | 560 |
| 大阪河崎リハビリテーション大学大学院 | | | | 大阪河崎リハビリテーション大学大学院 | | | | | |
| リハビリテーション研究科 | | | | リハビリテーション研究科 | | | | | |
| | リハビリテーション学専攻(M) | 8 | - | 16 | | リハビリテーション学専攻(M) | 8 | - | 16 |
| | 計 | 8 | - | 16 | | 計 | 8 | - | 16 |

(1) 大阪府における位置関係の図面

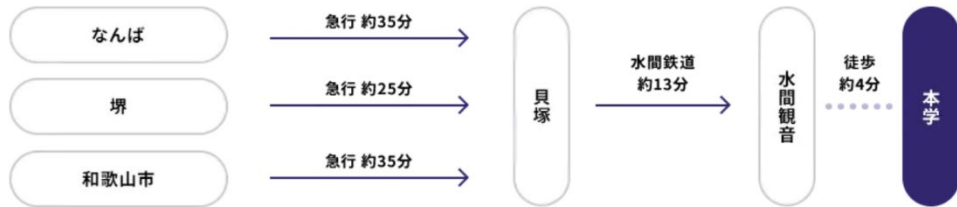


大阪河崎リハビリテーション大学・大学院
(貝塚市水間)

(2) 最寄り駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面



南海電車をご利用の場合

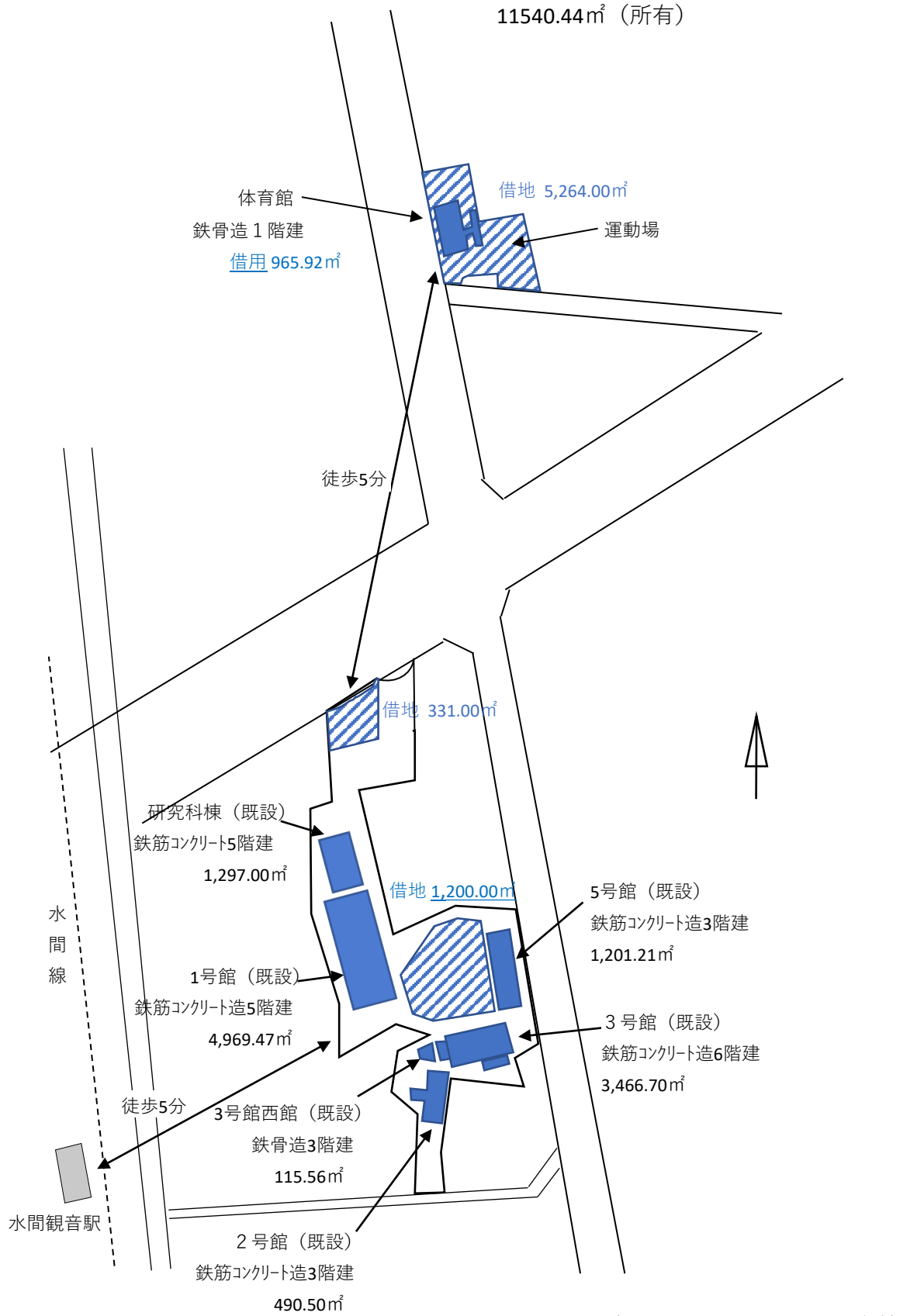


JR阪和線をご利用の場合



(3) 校舎、運動場等の配置図

大阪河崎リハビリテーション大学校舎
11540.44㎡ (所有)



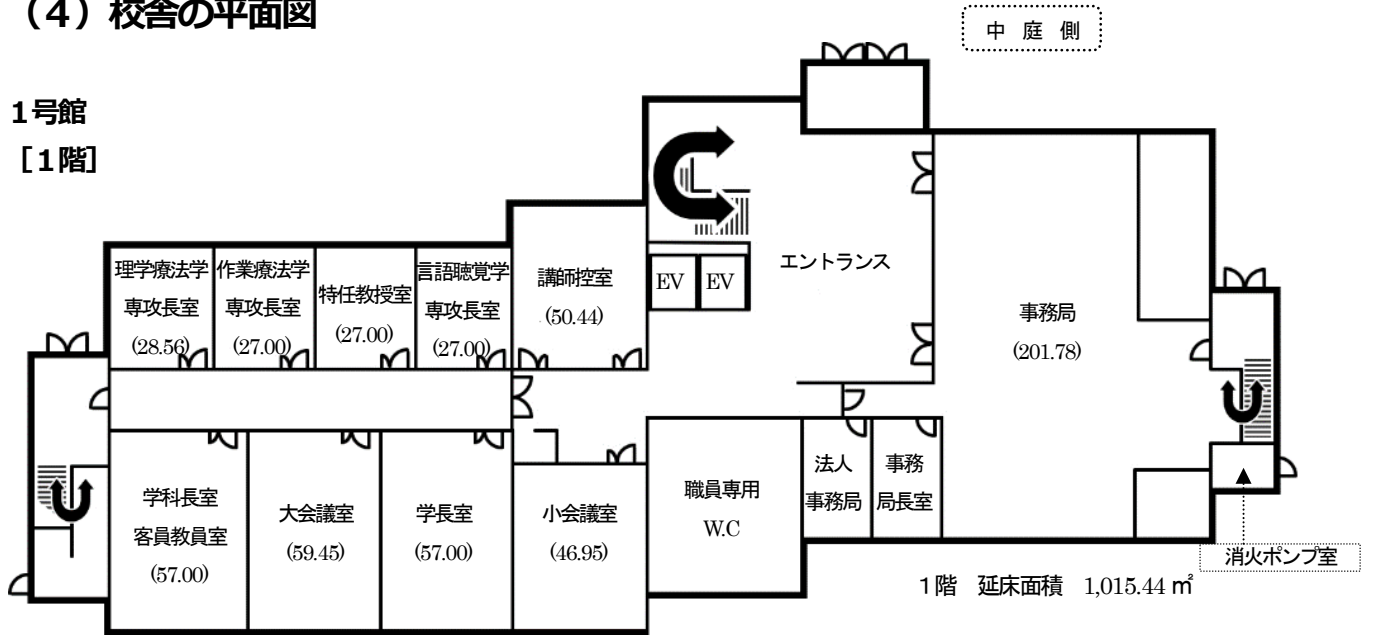
大阪河崎リハビリテーション大学校地
13776.10㎡ 所有:6,981.10㎡
借地:6,795.00㎡
所在地：大阪府貝塚市水間158番地

図面一3

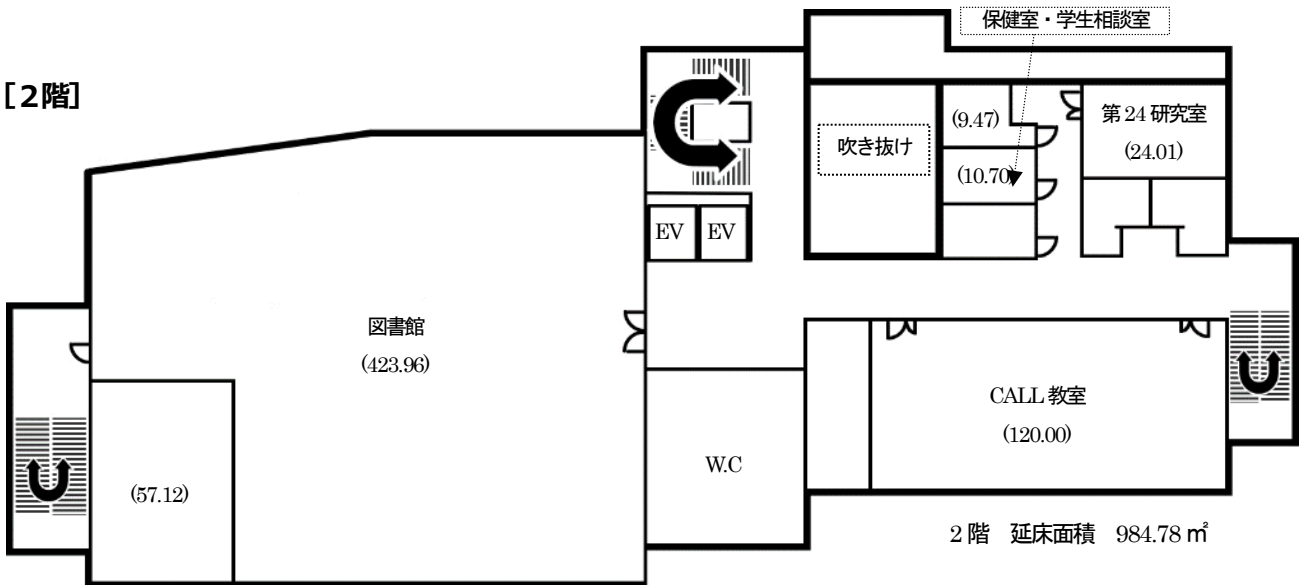
(4) 校舎の平面図

1号館

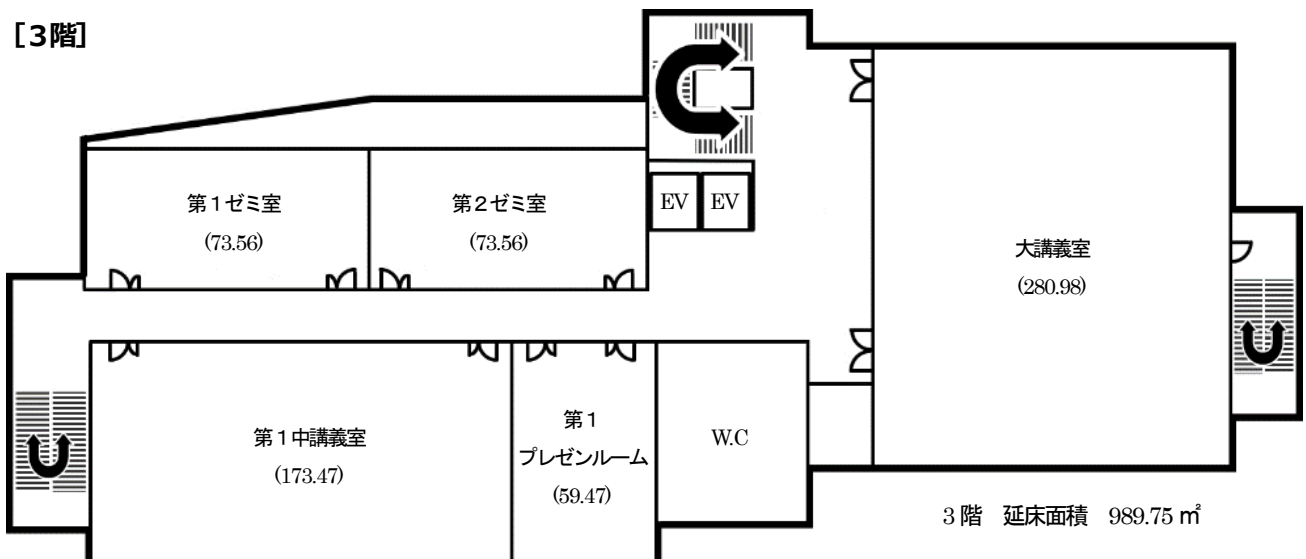
[1階]



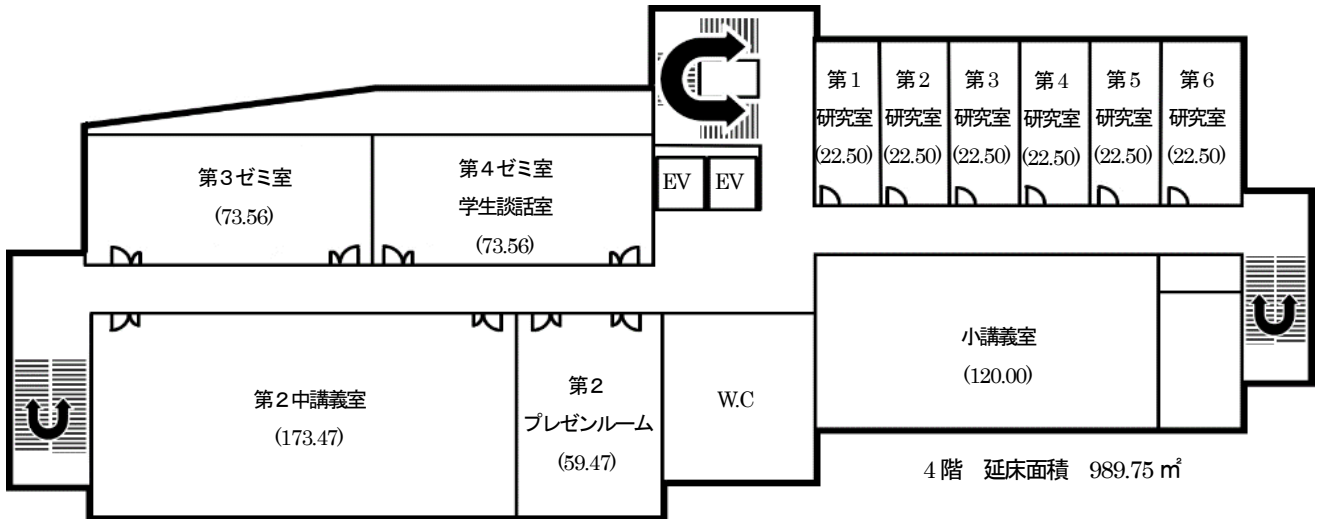
[2階]



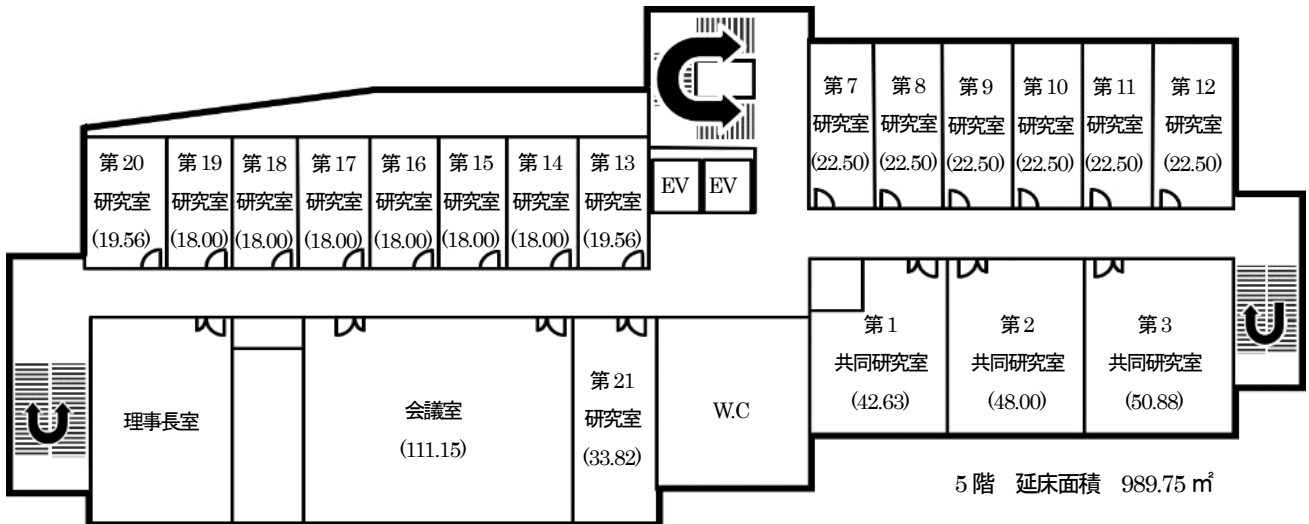
[3階]



[4階]

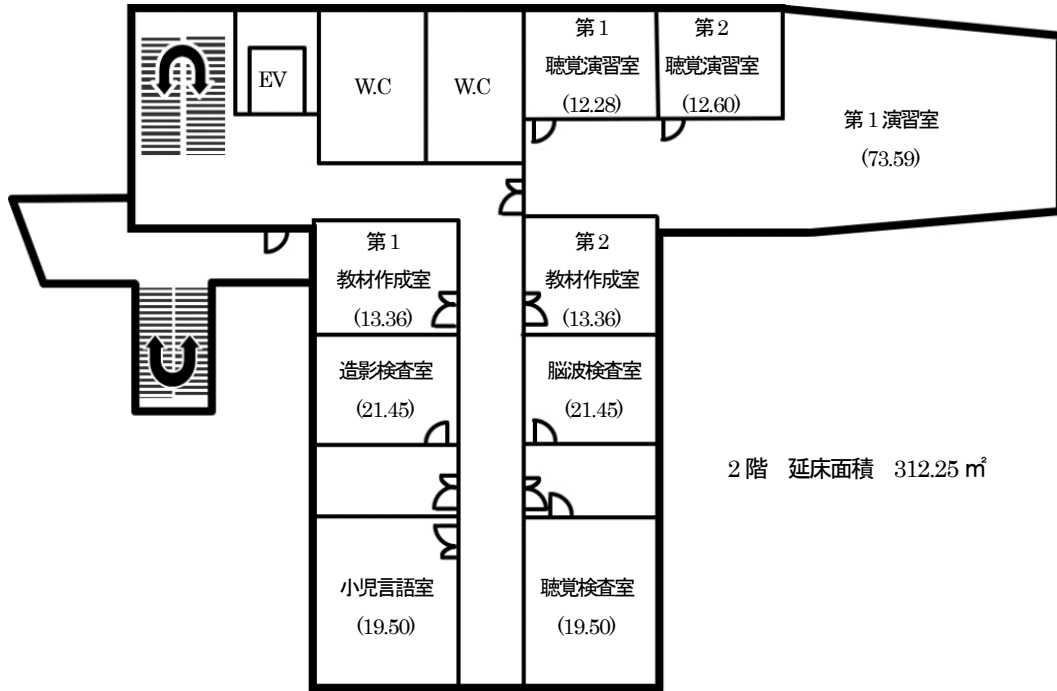


[5階]

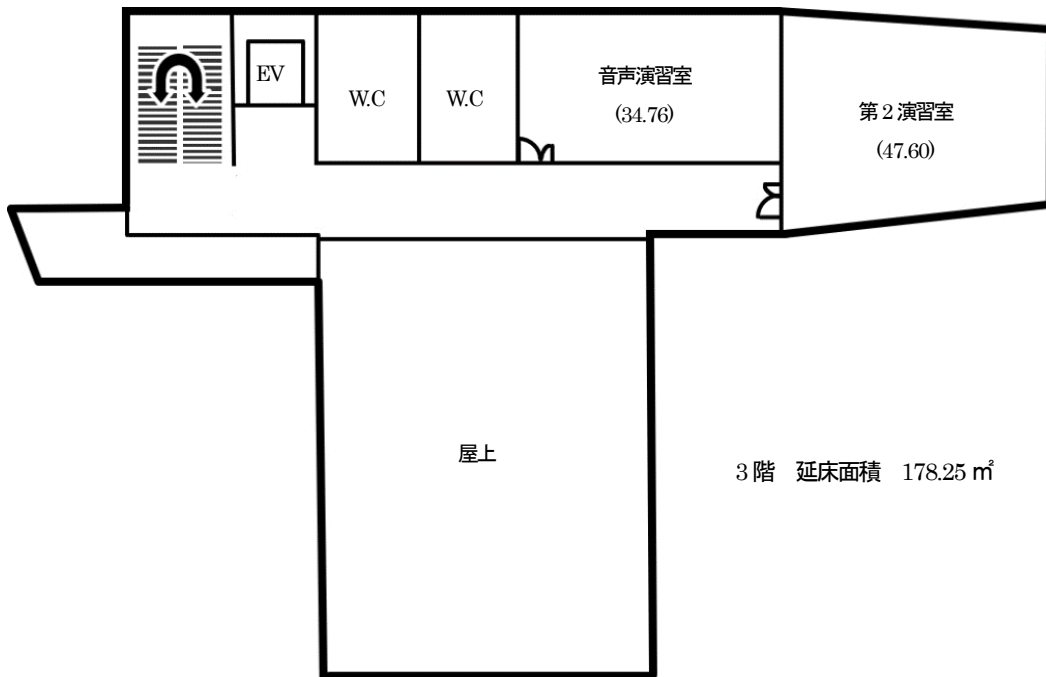


1号館 延床面積 4,969.47 m²

2号館
[2階]



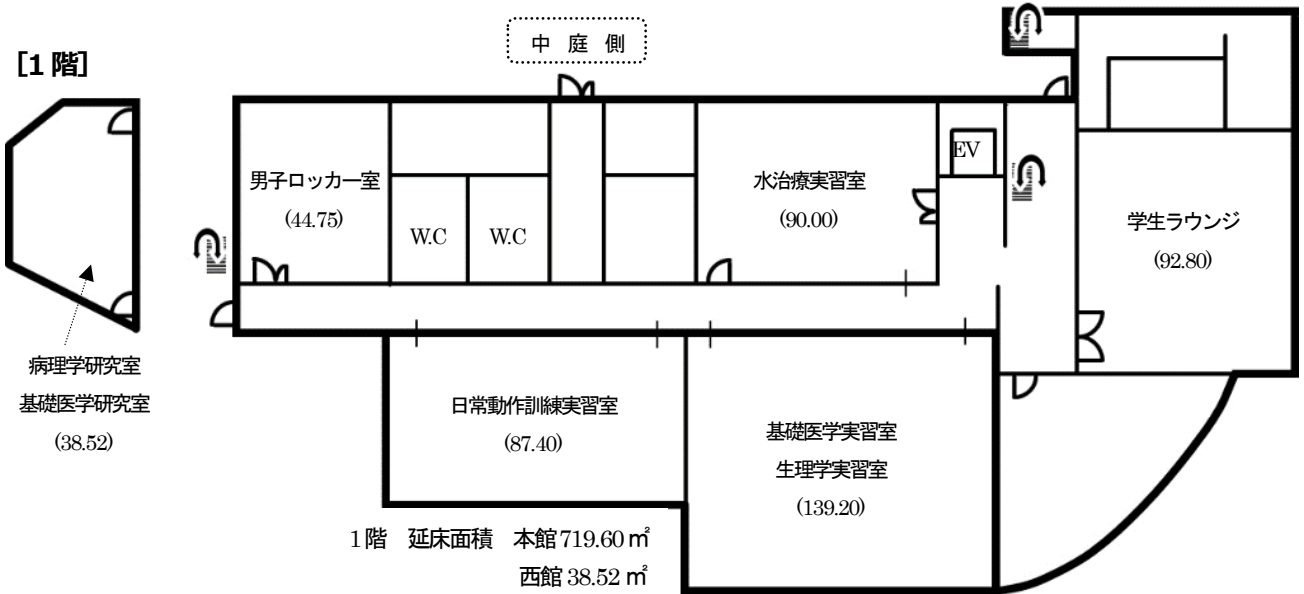
[3階]



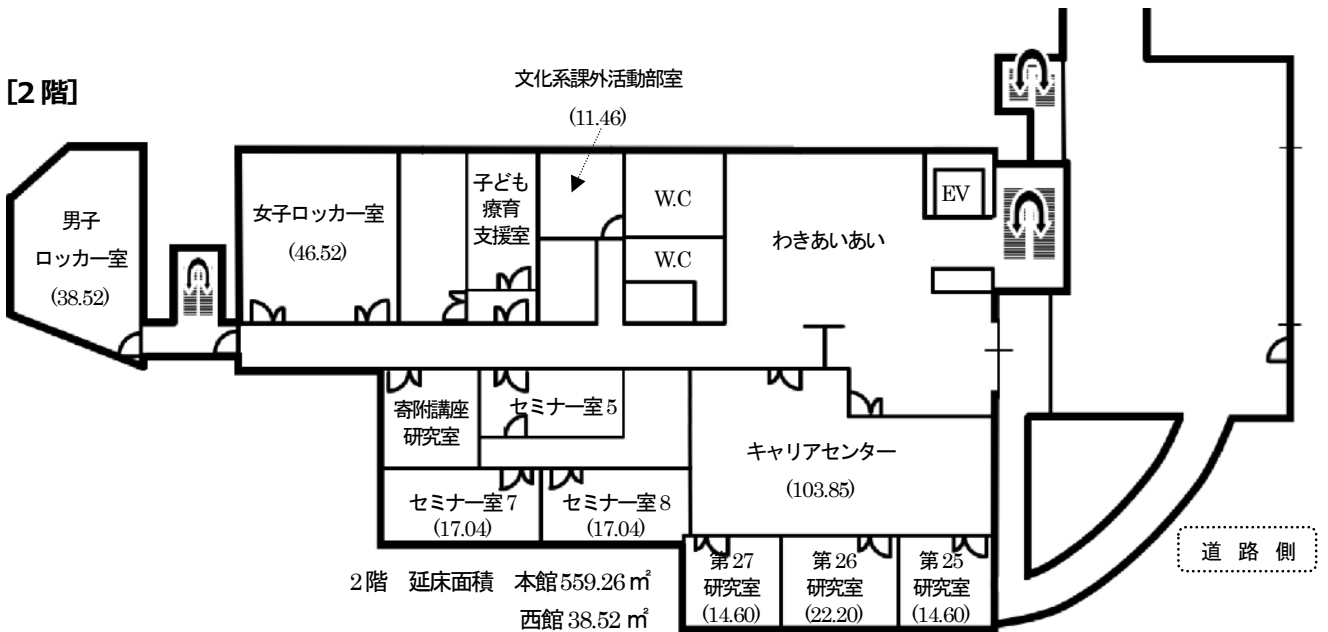
2号館 延床面積 490.50㎡
(1階は校舎外)

3号館

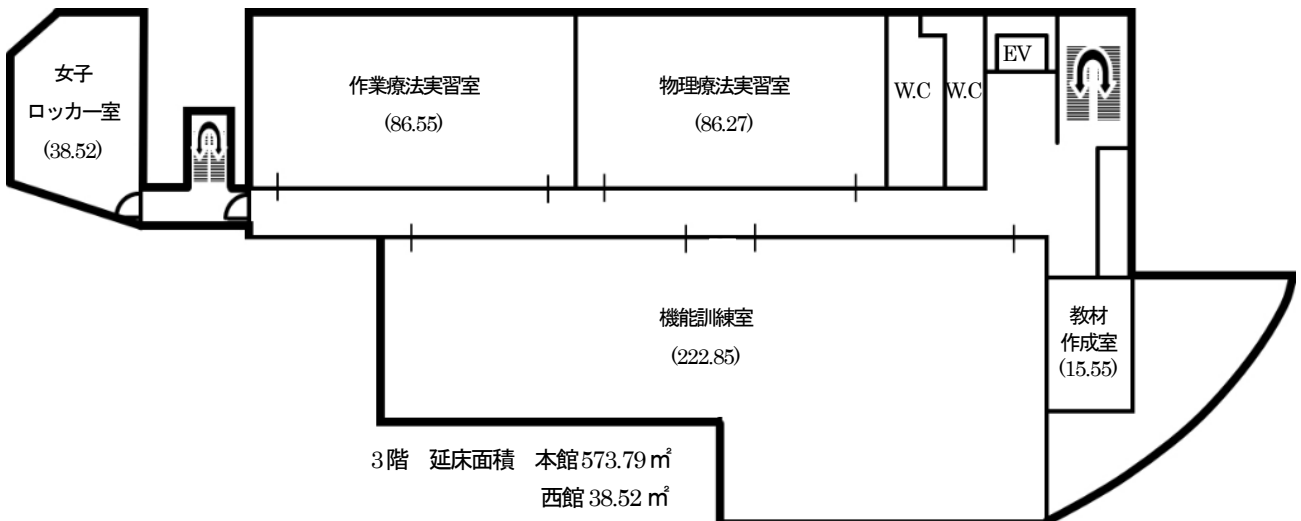
[1階]



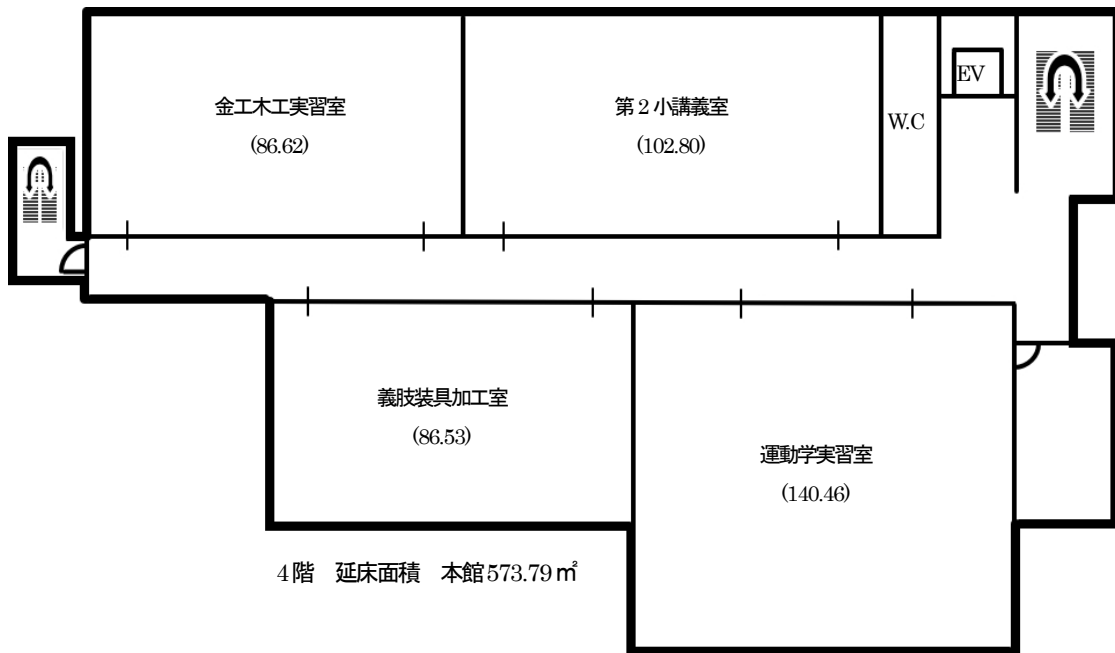
[2階]



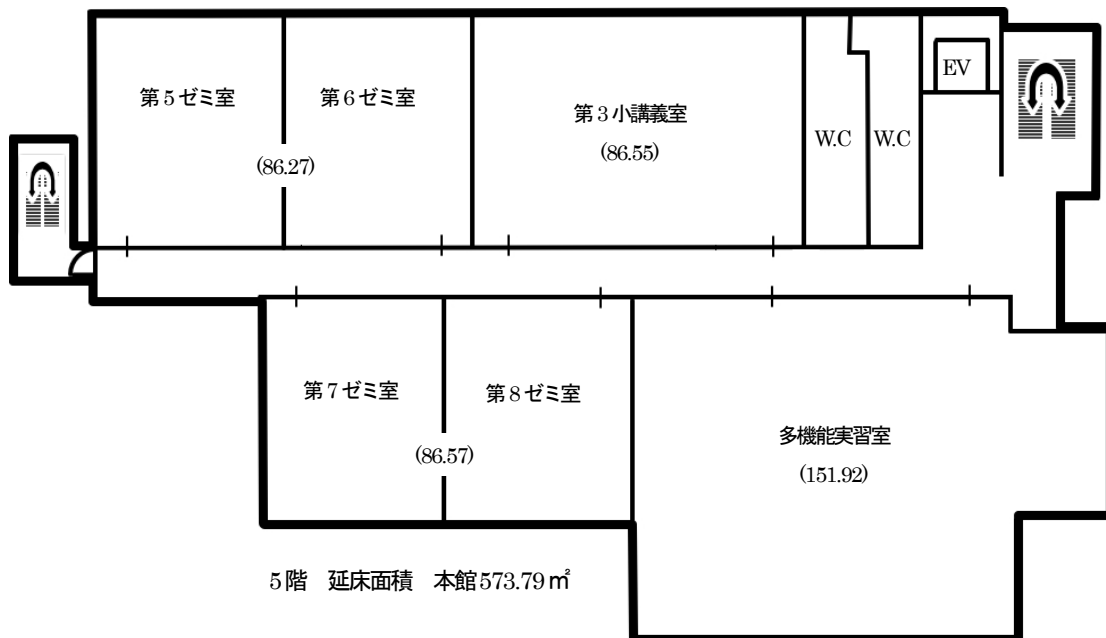
[3階]



[4階]



[5階]

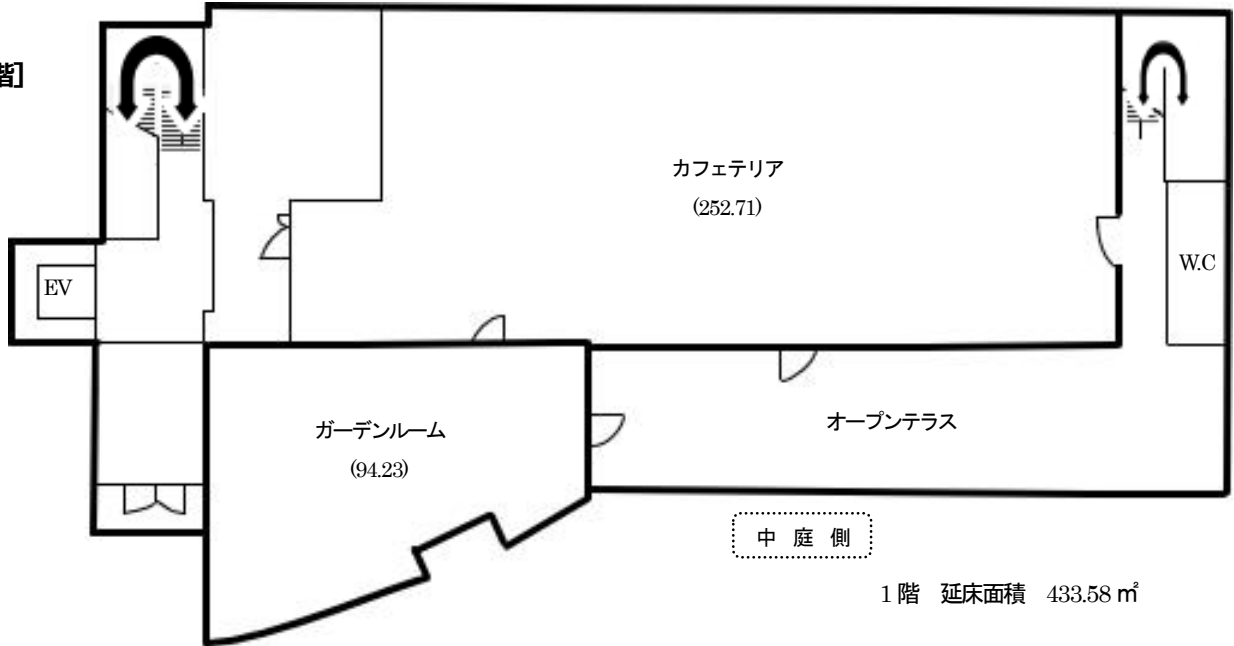


[6階]

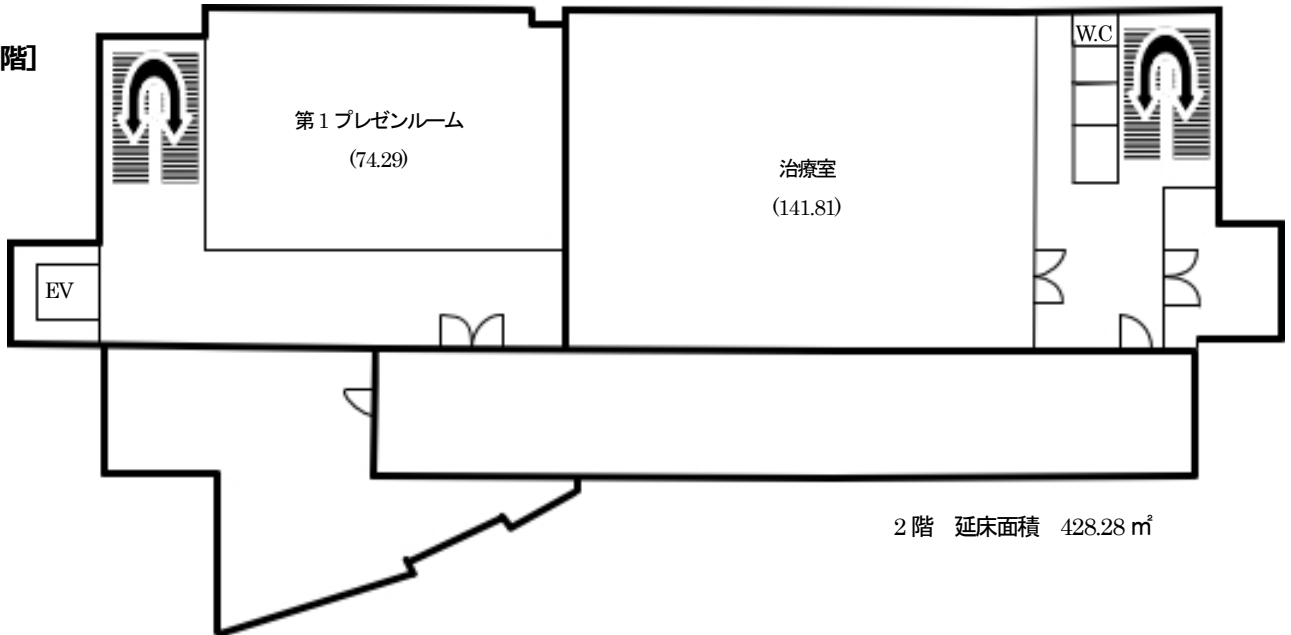


5号館

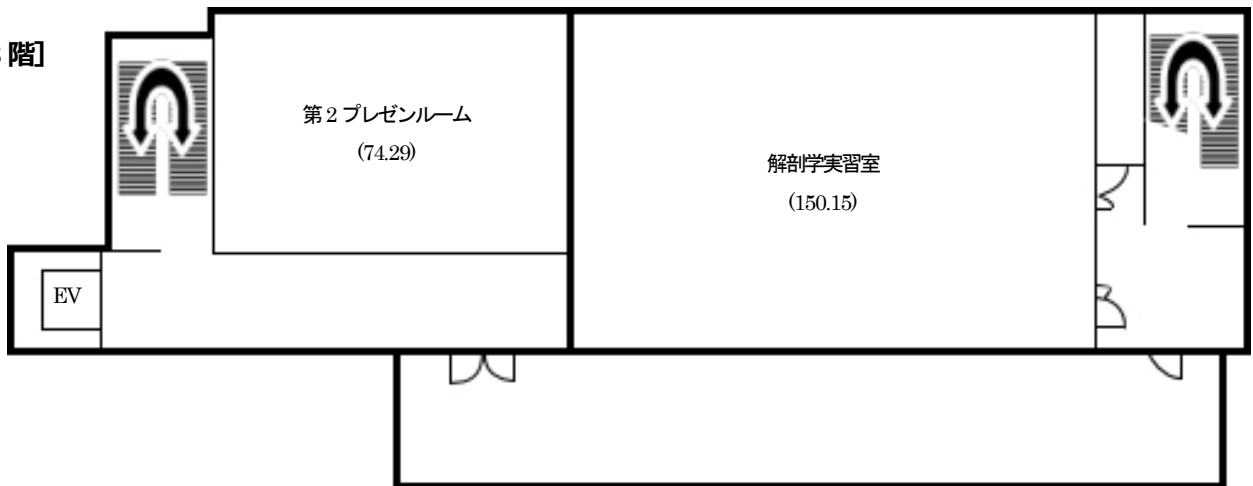
[1階]



[2階]



[3階]



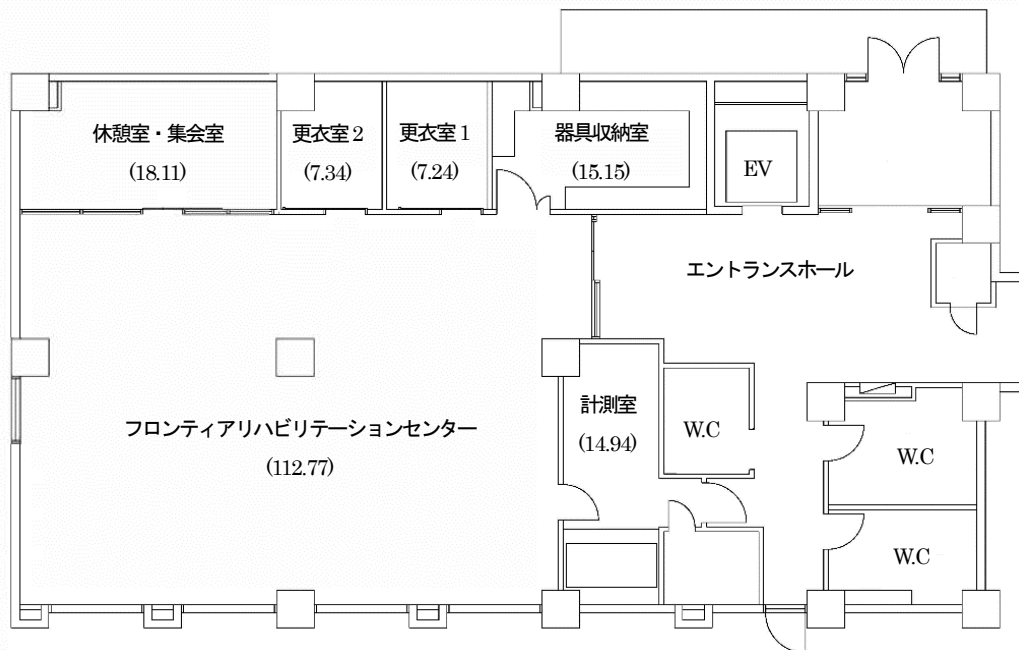
5号館 延床面積 1,201.21 m²

3階 延床面積 339.35 m²

大学院リハビリテーション研究科棟

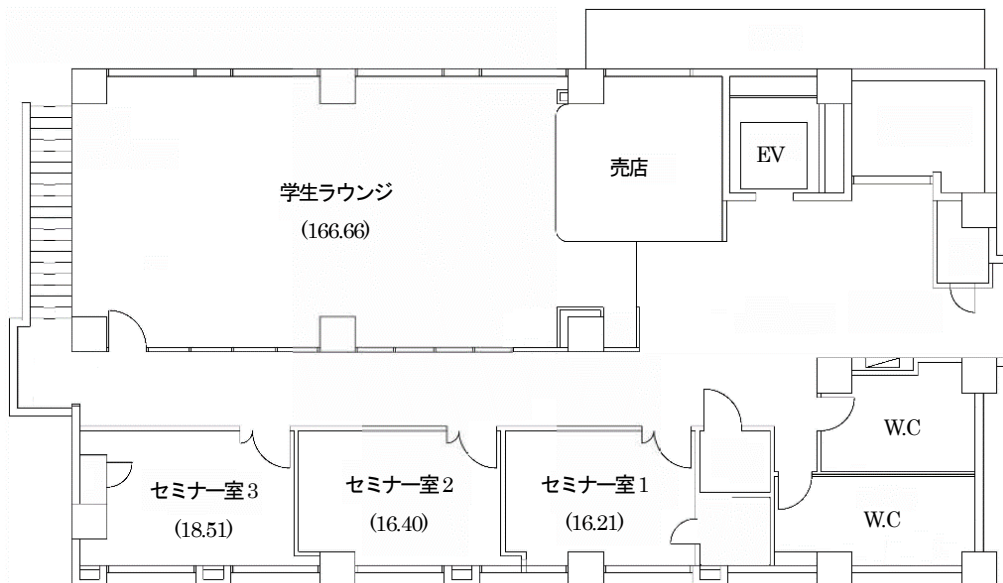
[1階]

1階 延床面積
268.04 m²



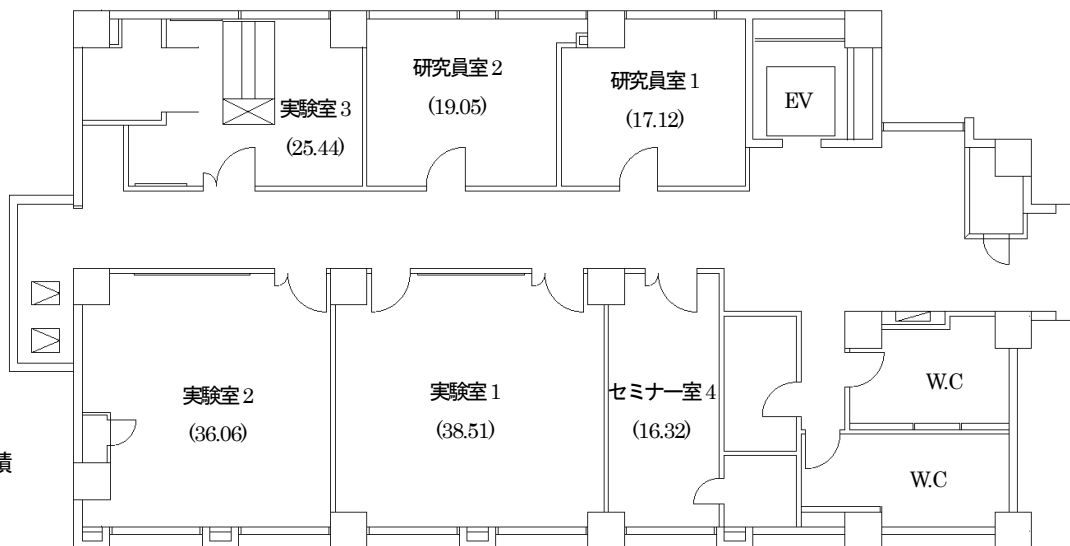
[2階]

2階 延床面積
257.24 m²

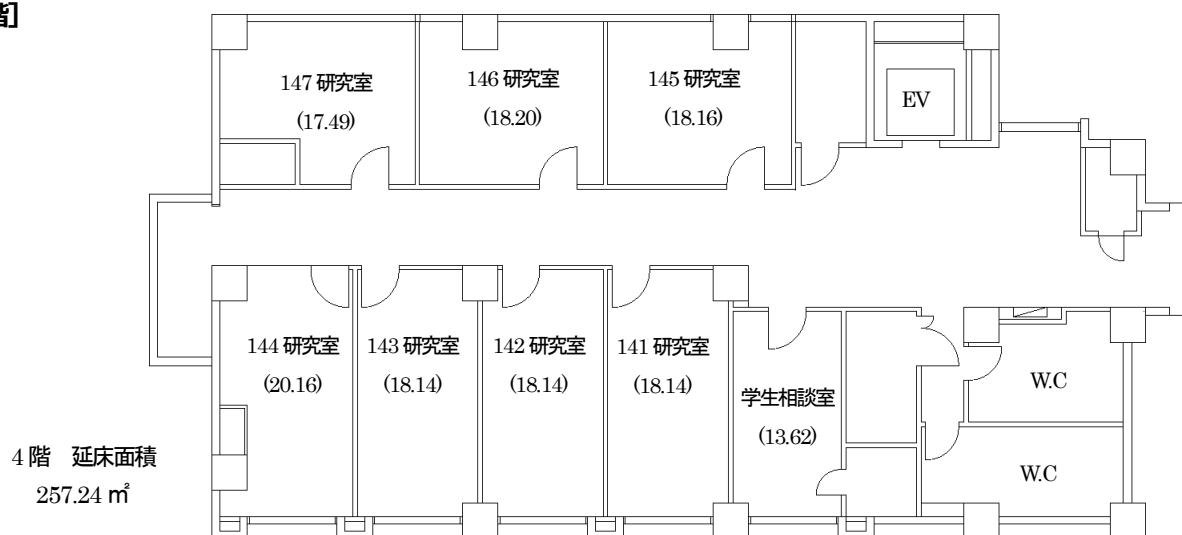


[3階]

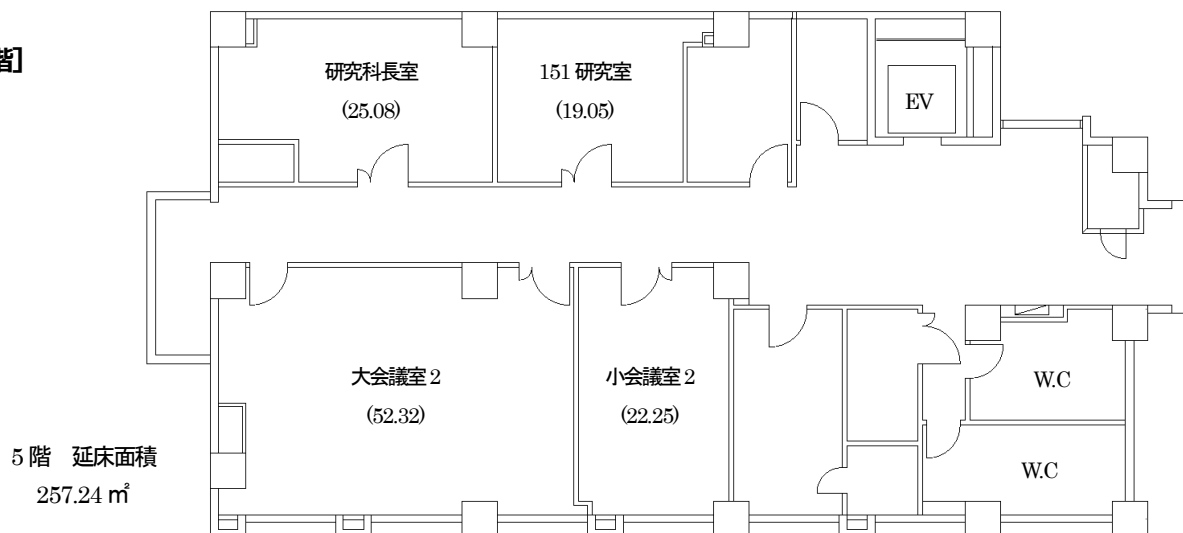
3階 延床面積
257.24 m²



[4階]



[5階]



研究科棟 延床面積 1,297.00 m²

大学全体 : 11,540.44 m²

学 則

(令和 7 年 4 月 1 日施行)

大阪河崎リハビリテーション大学

第 1 章 総 則

(目的)

第 1 条 大阪河崎リハビリテーション大学（以下「本学」という。）は、建学の精神「夢と大慈大悲」と教育理念「知育と人間性を育む」に則り、リハビリテーションに関する高度な知識、技術の教育・研究を通じて豊かな人間性を養い広く国民の保健・医療・福祉の向上に寄与することのできる有能な人材を育成することを目的とする。

(自己評価)

第 2 条 本学は、その教育研究水準の向上を図るとともに、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価（以下「自己評価」という。）を行い、その結果について公表する。

2 前項の自己評価の結果について、学外者による検証を行うように努める。

3 本学は、教育研究活動等の状況について、自己評価及び第三者評価等の結果を、刊行物・広報物、ホームページ等において、情報提供するものとする。

4 前項の自己評価の方法等については、別に定める。

第 2 章 学部・学科等及び修業年限

(学部・学科の教育研究上の目的等)

第 3 条 本学に、リハビリテーション学部リハビリテーション学科を置き、第 1 条に規定する本学の目的を学部及び学科の教育研究上の目的とする。

2 学科に属する専攻の種類、修業年限、入学定員、収容定員、並びに教育研究上の目的は次のとおりとする。

| 専攻 | 修業年限 | 入学定員 | 収容定員 | 教育研究上の目的 |
|---------|------|------|------|---|
| 理学療法学専攻 | 4年 | 60名 | 240名 | 科学的根拠に基づいた運動療法及び物理療法により身体機能の維持・改善を図り、また人間性の回復を支援し、他の専門職域とも連携したチーム医療のできる人材を育成する。 |
| 作業療法学専攻 | 4年 | 50名 | 200名 | 科学的根拠に基づいた種々の活動により心身機能の維持・改善を図り、また人間性の回復を支援し、他の専門職域とも連携したチーム医療のできる人材を育成する。 |
| 言語聴覚学専攻 | 4年 | 30名 | 120名 | ことばや聞こえ、飲み込みの機能の維持・改善を図り、また人間性の回復を支援し、他の専門職域とも連携したチーム医療のできる人材を育成する。 |

(在学年限)

第4条 学生は、前項の規定に定められた修業年限の2倍に相当する年数を超えて在学することはできない。

(大学院)

第4条の2 本学に大学院を置く。

2 大学院に関する規則は別に定める。

第3章 学年・学期及び休業日

(学年・学期)

第5条 本学の学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 学年を分けて次の2期とする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第6条 本学の休業日は、次のとおりとする。

- (1) 土曜日及び日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律で規定する休日
- (3) 創立記念日 11月7日

(4) 季節休業日

- ① 夏季 8月12日から9月30日まで
- ② 冬季 12月23日から1月7日まで
- ③ 春季 3月17日から3月31日まで

- 2 前項の規定にかかわらず学長が特に必要があると認めるときは、前項の休業日を変更することができる。
- 3 学長は特に必要があると認めるときは、休業日においても臨時の授業日を設けることができる。

第4章 教育課程・単位及び卒業認定

(教育課程及び履修方法)

- 第7条 教育課程は本学の教育上の目的を達成するため、基礎分野、専門基礎分野および専門分野の綿密な連携を図るとともに知識を体系的かつ効果的に教授できるように編成するものとする。学生が履修すべき授業科目、単位数及び年次配当は、別表1のとおりとし、入学年度の教育課程を適用する。ただし、本学が十分な教育効果をあげることができるかと認められる場合は、この限りではない。
- 2 臨床教育の実習に関する授業科目を履修するに当たっては、要件を別に定める。

(単位の計算方法)

- 第8条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成するものとし、次の基準により計算するものとする。
- (1) 講義については、15～30時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 演習については、15～30時間の授業をもって1単位とする。
 - (3) 実験、実習及び実技については、30～45時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められた場合は、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。
 - 3 1単位の計算基礎となる授業時間については、教授会に諮り、学長が定める。

(一年間の授業期間)

第9条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

(始業及び終業)

第10条 本学の始業時刻は9時、終業時刻は17時50分とする。ただし、実習の時間については別に定める。

(学習の評価)

第11条 学習の評価は、試験の成績、臨床教育実習の評価並びに出席状況等を勘案して行う。

(試験)

第12条 授業科目を履修した者に対し、各学期末に試験を行う。また、最終学年の終わりに卒業試験を行うことがある。

2 試験の成績は、各科目100点満点とし、60点以上を合格点とする。

3 合格点に満たない科目については、再試験を行うことがある。

4 試験に欠席した者で、その理由がやむを得ないと認められた者には、追試験を許可することがある。

(単位の認定)

第13条 前条第1項に定める試験に合格した者には、所定の単位を認定する。

2 臨床における各種実習の出席時間数が所定の時間数の5分の4に満たない者については、当該科目の受験を認めない。

3 授業科目の出席時間数が所定の時間数の4分の3に満たない者については、当該科目の受験を認めない。

(入学前の既修得単位の認定)

第13条の2 専修学校の専門課程、短期大学又は大学を卒業又は中途退学の上、入学した者の既修得単位については、教育上有益と認めるときは、第22条の規定により入学を許可された場合を除き、本学において履修したのものとして単位を認定することができる。

2 前項及び第22条の規定により入学を許可された者の入学前に修得した単位の認定については別に定める。

(卒業)

第 14 条 学長は、第 3 条に定める修業年限以上在学し、所定の授業科目を履修し、単位を取得した者に対し、教授会に諮り、卒業を認定する。

2 学長は、卒業を認定された者に対し、別記様式の卒業証書を授与する。また、取得できる資格は次のとおりとする。

理学療法学専攻にあつては、理学療法士国家試験受験資格

作業療法学専攻にあつては、作業療法士国家試験受験資格

言語聴覚学専攻にあつては、言語聴覚士国家試験受験資格

3 学長は、卒業を認定された者に対して学士（リハビリテーション学）の称号を授与する。

第 5 章 入学・休学・復学・退学等及び賞罰

(入学資格)

第 15 条 本学に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 高等学校を卒業した者

(2) 通常の課程による 12 年の課程を修了した者

(3) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。

(4) 文部科学大臣が高等学校と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 文部科学大臣の指定した者

(6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者

(7) 本学が、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力を有すると認めた者

(入学時期)

第 16 条 入学時期は、学年の始めとする。

(出願手続)

第 17 条 本学に入学しようとする者は、本学所定の入学願書に必要事項を記載し、第 26 条に定める入学検定料を添えて指定期日までに提出しなければならない。

(入学者の選考)

第 18 条 前条の手續を終了した者に対し，入学選抜試験を行い，入学者を決定する。

2 手續きを満了しない者は，入学許可を取り消す。

(入学手續)

第 19 条 本学に入学を許可された者は，誓約書を第 26 条に定める入学金を添えて指定期日までに提出しなければならない。

(休学・復学)

第 20 条 学生は，病気その他やむを得ない理由により引き続き 1 ヶ月以上就学できない場合は，診断書又はその理由書を添えて休学願を提出し，学長の許可を受けなければならない。

2 学長は，病気その他の理由により就学することが不相当と認められた者に対し，期間を指定して休学を命ずることができる。

3 休学期間は，1 年以内とする。また，特別の理由がある場合であっても，引き続いて 2 年を超えることはできない。

4 休学期間は，通算して 4 年を超えることはできない。

5 休学期間は，在学期間に算入しない。

6 復学しようとする者は，復学願を提出し，学長の許可を受けなければならない。

(退学)

第 21 条 退学しようとする者は，退学願を提出し，学長の許可を受けなければならない。

(編入学)

第 22 条 編入学を志望する者があるときは，学長は，定員に欠員のある場合に限り，教授会に諮り，相当年次に編入学を許可することができる。

2 編入学実施に関して，必要な事項は別に定める。

(転専攻)

第 22 条の 2 転専攻を志望する者があるときは，学長は，定員に欠員のある場合に限り，教授会に諮り，相当年次に転専攻を許可することができる。

2 転専攻実施に関して，必要な事項は別に定める。

(除籍・復籍)

第 23 条 学長は、学生が次の各号に該当したときは、教授会に諮り、これを除籍する。

- (1) 死亡又は長期にわたり行方不明の者
- (2) 第 4 条に規定する在学年限に達した者
- (3) 休学期間が満了しても復学願を提出しない者
- (4) 授業料等を納期までに納付せず、督促してもなお、相当の期間滞納した者

2 前項第 4 号の規定により除籍となった者から、復籍料及び未納の授業料を添えて復籍の願い出があったときは、除籍された日から 2 年以内に関り、教授会に諮って、復籍を認めることがある。

(褒賞)

第 24 条 学長は、学生として褒賞に値する行為があった者を、教授会に諮り、表彰することができる。

(懲戒)

第 25 条 学長は、教育上必要と認めるときは、教授会に諮り、学生に懲戒の処分をすることができる。

2 懲戒の種類は、次のとおりとする。

- (1) 戒告 学生の行った非違行為を文書又は口頭により注意することをいう
- (2) 停学 一定の期間学生の教育課程の履修及び課外活動を禁止することをいう
- (3) 退学 大阪河崎リハビリテーション大学の学生としての身分を喪失させることをいうこの場合、再入学は認めない

3 懲戒に関して、必要な事項は別に定める。

第 6 章 入学金・授業料等

(納付金)

第 26 条 本学の入学金および授業料等は、別表 2 のとおりとし、入学年度の金額とする。

2 前項に定める納付金のほか、修学に必要な各種手数料については、別に定める。

(納入義務)

第 27 条 入学又は編入学を志願するものは、入学検定料を指定期日までに納入しなければならない。

2 入学又は編入学の選考に合格した者は、入学金を指定期日までに納入しなければならない。

3 学生は、授業料、実習費、施設・設備充実費、その他定められた諸経費を指定期日までに納入しなければならない。

(授業料等の特例)

第 28 条 学長は、経済的理由等により授業料、実習費、施設・設備充実費、その他定められた諸経費を納入することが困難あるいは必要がないと認められる者に対して、特例を認めることができる。

(休学者又は停学者の授業料等)

第 29 条 休学期間中の授業料は、免除する。ただし、前期または後期の途中で休学、または復学する場合は、休学または復学の日の属する期分の授業料を納付しなければならない。

2 停学期間中の授業料、実習費、施設・設備充実費その他定められた諸経費は、納入しなければならない。

(納付金の返還)

第 30 条 既納の入学金、入学検定料及び授業料等は、特別の理由があると認められる場合を除き返還しない。

(健康診断)

第 31 条 健康診断は、毎年 1 回、別に定めるところにより実施する。

第 7 章 教職員組織

(教職員組織)

第 32 条 本学に次の職員を置く。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 研究科長

- (4) 学部長
- (5) 学科長
- (6) 認知予備力研究センター長
- (7) 教授
- (8) 准教授
- (9) 講師
- (10) 助教及び助手
- (11) 研究員
- (12) 事務職員

2 前項のほか，技術職員その他の必要な職員を置くことができる。

(事務局及び学生部)

第 33 条 本学に事務局及び学生部を置く。

2 事務局及び学生部の組織及び運営に関する，必要な事項は別に定める。

(名誉教授)

第 34 条 本学において学長，学部長，教授，准教授又は講師として多年勤務した者でかつ，教育上又は学術上特に功績のあった者に対し，名誉教授の称号を与えることができる。

2 名誉教授に関し，必要な事項は別に定める。

(客員教授等)

第 35 条 本学の教育及び学術研究の充実発展に寄与すると認められた者に対し，客員教授，客員准教授及び客員講師（以下「客員教授等」という。）の称号を与えることができる。

2 客員教授等に関し，必要な事項は別に定める。

(臨床教授等)

第 35 条の 2 本学の臨床教育及び研究等の充実を図るため，臨床教育等に協力する学外の医療機関等の優れた医療人に対し，臨床教授，臨床准教授及び臨床講師（以下「臨床教授等」という。）の称号を与えることができる。

2 臨床教授等に関し，必要な事項は別に定める。

(特任教授等)

第 35 条の 3 本学の教育及び研究の充実を図るため、特任教授、特任准教授、特任講師及び特任助教（以下「特任教授等」という。）を置くことができる。

2 特任教授等に関し、必要な事項は別に定める。

(教授会の設置等)

第 36 条 本学に教授会を置く。

2 教授会は、学長及び教授を持って組織する。

3 学長は、教授会を招集し、その議長となる。

4 学長は、准教授その他の職員を必要に応じ、教授会に加えることができる。

(協議事項)

第 37 条 教授会は次の事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了

(2) 学位の授与

(3) 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

(4) 教育課程及び履修に関すること

2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長（以下「学長等」という）がつかさどる教育研究に関する事項について協議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができることとし、別に定める。

(委員会)

第 38 条 本学の運営に関する連絡調整、企画協議等にあたるため、学内に各種委員会を置くことができる。

2 各種委員会に関し、必要な事項は、別に定める。

(付属図書館)

第 39 条 本学に付属図書館を置く。

2 付属図書館に関する規定は、別に定める。

(認知予備力研究センター)

第 39 条の 2 本学に認知予備力研究センターを置く。

2 認知予備力研究センターに関する規定は、別に定める。

(寄付講座)

第 39 条の 3 本学に寄付講座を置くことができる。

2 寄付講座に関する規定は、別に定める。

第 8 章 研究生，科目等履修生，聴講生，特別聴講生，研修生及び 外国人留学生

(研究生)

第 40 条 学長は、本学において専門事項について研究することを志願する者があるときは、本学の教育研究に支障のない範囲において、選考により、研究生として入学を許可することができる。

2 研究生を志願することができる者は、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると学長が認めた者とする。

(科目等履修生)

第 41 条 学長は、本学において特定の授業科目を履修することを志願する者があるときは、本学の教育研究に支障のない範囲において、選考により、科目等履修生として入学を許可することができる。

2 科目等履修生を志願することができる者は、当該授業科目を履修するに十分な学力があると学長が認めた者とする。

3 学長は、科目等履修生に対し、単位を与えることができる。

(聴講生)

第 41 条の 2 学長は、本学において開講する 1 又は複数の授業科目を聴講することを志願する者があるときは、本学の教育研究に支障のない範囲において、選考により聴講生として入学を許可することができる。

2 聴講生を志願することができる者は、大学又は短期大学を卒業した者で、当該授業科目を履修するに十分な学力があると学長が認めた者とする。

3 学長は、聴講生に対し、単位の認定は行わない。

(特別聴講生)

第 42 条 学長は、他の大学又は短期大学の在学学生で、本学において特定

の授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該大学又は短期大学との協議に基づき、特別聴講生として入学を許可することができる。

2 学長は、特別聴講生に対し、単位を与えることができる。

(研修生)

第 43 条 学長は、他の大学あるいは機関からその所属する職員に特定の専門事項について研修させるため、本学に派遣の申し出があるときは、本学の教育研究に支障のない範囲において、選考により、研修生として受け入れることができる。

(外国人留学生)

第 44 条 外国人であって、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、学長は、選考により、入学を許可することができる。

(研究生等の規程)

第 45 条 研究生、科目等履修生、聴講生、特別聴講生、研修生及び外国人留学生に係る入学、履修方法その他必要な事項は、別に定める。

第 9 章 公開講座

第 46 条 本学は、公開講座を開設することができる。

2 公開講座の実施に関し、必要な事項は、別に定める。

第 10 章 改正及び細則

(改正)

第 47 条 本学則の改正は、教授会に諮り、学長が決定する。

(細則)

第 48 条 本学則の施行に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この学則は、平成 17 年 12 月 5 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 24 年 12 月 4 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 25 条の規定については、平成 26 年 11 月 4 日から適用する。

附 則

この学則は、平成 27 年 4 月 7 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 28 年 10 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行し、改正後の第 23 条第 2 項の規定は、平成 28 年 3 月 31 日以後に除籍になった者から適用する。

附 則

この学則は、平成 30 年 5 月 15 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 30 年 10 月 2 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 30 年 10 月 30 日から施行する。

附 則

この学則は、令和元年 10 月 29 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 2 年 3 月 31 日現在、在学中の者（以下この項において「在学者」という。）及び令和 2 年 4 月 1 日以後において在学者の属する年次に編入学又は復籍する者に対する別表 1 の適用については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。

別表 1 授業科目，単位数及び年次配当等

リハビリテーション学部 リハビリテーション学科
理学療法学専攻（1/4）

| 分野 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 備考 | |
|------|---------|-------------|---------|----|----|------------------------------------|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | | |
| 基礎分野 | 人文学系 | 心理学 | 1 | 2 | | [必修] 13単位 + [選択] 5単位以上 | |
| | | 日本語表現Ⅰ | 1 | 1 | | | |
| | | 日本語表現Ⅱ | 1 | 1 | | | |
| | | 医療倫理学 | 1・2・3・4 | | 1 | | |
| | | 教育学Ⅰ | 2 | | 2 | | |
| | | 教育学Ⅱ | 3 | | 2 | | |
| | 社会学系 | 社会学 | 1・2・3・4 | | 1 | | |
| | | 社会福祉学 | 1・2・3・4 | | 1 | | |
| | | コミュニケーション学 | 1・2・3・4 | 1 | | | |
| | 自然科学系 | 情報処理学入門 | 1 | 1 | | | |
| | | 情報処理学応用 | 1 | 1 | | | |
| | | 医療統計学 | 2 | 1 | | | |
| | | 生物学 | 1 | 1 | | | |
| | 外国語系 | 英文法 | 1 | 2 | | | |
| | | 英文講読 | 1 | 1 | | | |
| | | 医療英語 | 2 | | 1 | | |
| | | 英会話Ⅰ | 1 | | 1 | | |
| | | 英会話Ⅱ | 1 | | 1 | | |
| | 体育系 | スポーツ実技 A | 1 | | 1 | | |
| | | スポーツ実技 B | 1 | | 1 | | |
| | | ダンスレクリエーション | 3 | | 1 | | |
| 教養 | 基礎ゼミ | 1 | 1 | | | | |

理学療法学専攻（2/4）

| 分野 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 備考 |
|-----------------------|----------------------------------|-------------------------------|---------|----|----|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専門基礎分野 | 人体の構造と機能及び身体の発達 基礎医学， | 形態・機能学解剖領域Ⅰ | 1 | 2 | | [必修] 28単位 + [選択] 6単位以上 (ただし，4単位以上は，臨床医学系より選択すること) |
| | | 形態・機能学解剖領域Ⅱ | 1 | 2 | | |
| | | 形態・機能学生理領域Ⅰ | 1 | 2 | | |
| | | 形態・機能学生理領域Ⅱ | 1 | 2 | | |
| | | 解剖学実習Ⅰ | 1 | 1 | | |
| | | 解剖学実習Ⅱ | 1 | 1 | | |
| | | 生理学実習 | 1 | 1 | | |
| | | 運動学 | 1 | 1 | | |
| | | 病理学 | 1 | 1 | | |
| | | 発育発達学(含運動発達学) | 1 | 1 | | |
| | | 形態・機能学特論解剖領域 | 2 | | 1 | |
| | | 形態・機能学特論生理領域 | 3 | | 1 | |
| | 医学概論 | 1 | | 1 | | |
| | 臨床医学， 疾病の原因と治療 | 小児科学 | 2 | 1 | | |
| | | 内科学Ⅰ | 2 | 1 | | |
| | | 内科学Ⅱ(含老年医学) | 2 | 1 | | |
| | | 精神医学 | 1 | 1 | | |
| | | 神経内科学 | 2 | 1 | | |
| | | 臨床神経学 | 2 | 1 | | |
| | | 整形外科学 | 2 | 1 | | |
| | | 整形外科学特論 | 2 | | 1 | |
| | | 臨床心理学 | 1 | 1 | | |
| | | 一般臨床医学 | 1 | 1 | | |
| | | 統合基礎臨床医学 | 4 | 1 | | |
| | | リハビリテーション医学 | 2 | | 1 | |
| | | 産業医学 | 2・3・4 | | 1 | |
| | | 薬理学特論 | 2・3・4 | | 1 | |
| | | 栄養学特論 | 2・3・4 | | 1 | |
| | 画像診断学特論 | 2・3・4 | | 1 | | |
| | 救急医学特論 | 3 | | 1 | | |
| | と リハ ビ リ の 理 念 | リハビリテーション概論 (含地域リハビリテーション) | 1 | 1 | | |
| | | 社会福祉援助技術論 (含ケースワーク論) | 1・2・3・4 | | 1 | |
| | | 関係法規 | 4 | | 1 | |
| 社会保障制度 | | 1 | 1 | | | |
| 就労支援学 | | 3 | 1 | | | |
| 地域包括ケアシステム・リハビリテーション論 | | 3 | 1 | | | |
| 障害者福祉論 | | 1・2・3・4 | | 1 | | |

理学療法学専攻 (3/4)

| 分野 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 備考 |
|-----------------------------|--------------------------|----------|--------|----|----|--------------------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 研究 卒業 | 研究法 | 3 | 1 | | | [必修] 67単位 |
| | 卒業研究 卒業論文 | 3-4 4 | 3 | | 2 | |
| 基礎 理学療法 学 | 理学療法学概論 | 1 | 1 | | | + [選択] 5単位以上 |
| | 基礎運動学 | 1 | 1 | | | |
| | 基礎運動学実習 | 1 | 1 | | | |
| | 機能運動学Ⅰ | 2 | 1 | | | |
| | 機能運動学Ⅱ | 2 | 1 | | | |
| | 臨床運動学 | 3 | 1 | | | |
| | 臨床運動学演習 | 3 | 1 | | | |
| 管理 理学療法 学 | 理学療法管理学Ⅰ | 3 | 1 | | | |
| | 理学療法管理学Ⅱ | 4 | 1 | | | |
| 評価 理学療法 学 | 理学療法計測法 | 1 | 1 | | | |
| | 筋骨格系触察法 | 2 | 1 | | | |
| | 理学療法評価学Ⅰ | 2 | 1 | | | |
| | 理学療法評価学Ⅱ | 2 | 1 | | | |
| | 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ | 2 2 | 1 1 | | | |
| 専門 分野 理学療法 治療学 | 統合理学療法学 | 4 | 1 | | | |
| | 物理療法学 | 2 | 1 | | | |
| | 物理療法学実習 | 2 | 1 | | | |
| | 運動療法学総論 | 1 | 1 | | | |
| | 運動療法学実習 | 2 | 1 | | | |
| | 日常生活活動学 | 2 | 1 | | | |
| | 日常生活活動学実習 | 2 | 1 | | | |
| | 義肢装具学 | 2 | 1 | | | |
| | 義肢装具学実習 | 2 | 1 | | | |
| | 神経系理学療法学 | 3 | 2 | | | |
| | 神経系理学療法学実習 | 3 | 2 | | | |
| | 運動器系理学療法学 | 2 | 1 | | | |
| | 運動器系理学療法学実習 | 3 | 2 | | | |
| | 内部障害理学療法学 | 3 | 1 | | | |
| | 内部障害理学療法学実習 | 3 | 1 | | | |
| | 理学療法技術論 | 4 | 1 | | | |
| | 理学療法学PBL | 4 | 1 | | | |
| | 精神科理学療法学 | 4 | | 1 | | |
| | 産業理学療法学 | 4 | | 1 | | |
| | スポーツリハビリテーション概論 | 2 | | 1 | | |
| | スポーツリハビリテーション実習 | 3 | | 1 | | |
| | 園芸療法 | 2 | | 2 | | |
| | ガーデニング | 2 | | 2 | | |
| 園芸論 | 2 | | 2 | | | |
| 園芸療法実習Ⅰ | 3 | | 1 | | | |
| 園芸療法実習Ⅱ | 3 | | 1 | | | |

理学療法学専攻（4/4）

| 分野 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 備考 |
|---------|-----------|-------------------|---------|----|-----|----|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専門分野 | 地域・予防医学的 | 生活環境学 | 2 | 2 | | |
| | | 地域理学療法学(含在宅理学療法) | 3 | 1 | | |
| | | 地域支援フィールドワーク | 1・2・3・4 | | 1 | |
| | | 健康増進・介護予防フィールドワーク | 1・2・3・4 | | 1 | |
| | | 認知症ケア学 | 1・2・3・4 | | 1 | |
| | | 公衆衛生学 | 1・2・3・4 | | 1 | |
| | | アロマテラピー | 1・2・3・4 | | 1 | |
| | | 臨床実習 | 臨床ゼミⅠ | 1 | 1 | |
| | 臨床ゼミⅡ | | 2 | 1 | | |
| | 臨床実習指導Ⅰ | | 1 | 1 | | |
| | 臨床実習指導Ⅱ | | 2 | 1 | | |
| | 臨床実習指導Ⅲ | | 3 | 1 | | |
| | 臨床見学実習 | | 1 | 1 | | |
| | 臨床検査・測定実習 | | 2 | 3 | | |
| | 臨床総合実習Ⅰ | | 3 | 8 | | |
| | 臨床総合実習Ⅱ | 4 | 8 | | | |
| 卒業要件単位数 | | | | | 124 | |

リハビリテーション学部 リハビリテーション学科
作業療法学専攻 (1/4)

| 分野 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 備考 | |
|-------|-------------|------------|---------|----|----|------------------------------------|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | | |
| 基礎分野 | 人文科学系 | 心理学 | 1 | 2 | | [必修] 13単位 + [選択] 5単位以上 | |
| | | 日本語表現Ⅰ | 1 | 1 | | | |
| | | 日本語表現Ⅱ | 1 | 1 | | | |
| | | 医療倫理学 | 1・2・3・4 | | 1 | | |
| | | 教育学Ⅰ | 2 | | 2 | | |
| | | 教育学Ⅱ | 3 | | 2 | | |
| | 社会科学系 | 社会学 | 1・2・3・4 | | 1 | | |
| | | 社会福祉学 | 1・2・3・4 | | 1 | | |
| | | コミュニケーション学 | 1・2・3・4 | 1 | | | |
| | 自然科学系 | 情報処理学入門 | 1 | 1 | | | |
| | | 情報処理学応用 | 1 | 1 | | | |
| | | 医療統計学 | 2 | | 1 | | |
| | | 生物学 | 1 | 1 | | | |
| | 外国語系 | 英文法 | 1 | 2 | | | |
| | | 英文講読 | 1 | 1 | | | |
| | | 医療英語 | 2 | | 1 | | |
| 英会話Ⅰ | | 1 | | 1 | | | |
| 英会話Ⅱ | | 1 | | 1 | | | |
| 健康体育系 | スポーツ実技 A | 1 | | 1 | | | |
| | スポーツ実技 B | 1 | | 1 | | | |
| | ダンスレクリエーション | 3 | | 1 | | | |
| 教養 | 基礎ゼミ | 1 | 1 | | | | |

作業療法学専攻 (2/4)

| 分野 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 備考 |
|---|-------------------------------|-------|-----|----|----|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 人本の構造と機能及び身体の発達 基礎医学, 臨床医学, 疾病の原因と治療 保健医療福祉の理念とリハビリ | 形態・機能学解剖領域Ⅰ | 1 | 2 | | | [必修] 28単位 + [選択] 5単位以上 (ただし、4単位以上は、臨床医学系より選択すること) |
| | 形態・機能学解剖領域Ⅱ | 1 | 2 | | | |
| | 形態・機能学生理領域Ⅰ | 1 | 2 | | | |
| | 形態・機能学生理領域Ⅱ | 1 | 2 | | | |
| | 解剖学実習Ⅰ | 1 | 1 | | | |
| | 解剖学実習Ⅱ | 1 | 1 | | | |
| | 生理学実習 | 1 | 1 | | | |
| | 運動学 | 1 | 1 | | | |
| | 病理学 | 1 | 1 | | | |
| | 発育発達学(含運動発達学) | 1 | 1 | | | |
| | 形態・機能学特論解剖領域 | 2 | | 1 | | |
| | 形態・機能学特論生理領域 | 3 | | 1 | | |
| | 医学概論 | 1 | | 1 | | |
| | 小児科学 | 2 | | 1 | | |
| | 内科学Ⅰ | 2 | | 1 | | |
| | 内科学Ⅱ(含老年医学) | 2 | | 1 | | |
| | 精神医学 | 1 | | 1 | | |
| | 神経内科学 | 2 | | 1 | | |
| | 臨床神経学 | 2 | | 1 | | |
| | 整形外科学 | 2 | | 1 | | |
| | 整形外科学特論 | 2 | | | 1 | |
| | 臨床心理学 | 1 | | 1 | | |
| | 一般臨床医学 | 1 | | 1 | | |
| | 統合基礎臨床医学 | 4 | | 1 | | |
| | リハビリテーション医学 | 2 | | | 1 | |
| | 産業医学 | 2・3・4 | | | 1 | |
| | 薬理学特論 | 2・3・4 | | | 1 | |
| | 栄養学特論 | 2・3・4 | | | 1 | |
| | 画像診断学特論 | 2・3・4 | | | 1 | |
| | 救急医学特論 | 3 | | | 1 | |
| | リハビリテーション概論 (含地域リハビリテーション) | 1 | | 1 | | |
| 社会福祉援助技術論 (含ケースワーク論) | 1・2・3・4 | | | 1 | | |
| 関係法規 | 4 | | | 1 | | |
| 社会保障制度 | 1 | | 1 | | | |
| 就労支援学 | 3 | | 1 | | | |
| 地域包括ケアシステム・リハビリテーション論 | 3 | | 1 | | | |
| 障害者福祉論 | 1・2・3・4 | | | 1 | | |

作業療法学専攻 (3/4)

| 分野 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 備考 | |
|-----------------|-------------|---------------|-----|----|----|--|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | | |
| 専門分野 | 研 卒 業 | 研究法 | 3 | 1 | | [必修] 68単位 + [選択] 5単位以上 (ただし3単位 以上は作業療 法治療学から 取得すること) | |
| | | 卒業研究 | 3-4 | 3 | | | |
| | | 卒業論文 | 4 | | 2 | | |
| | 基礎 作業療法学 | 作業療法学概論 | 1 | 1 | | | |
| | | 基礎運動学 | 1 | 1 | | | |
| | | 作業療法運動学 | 2 | 1 | | | |
| | | 作業療法運動学演習 | 2 | 1 | | | |
| | | 基礎作業学 | 1 | 1 | | | |
| | | 基礎作業分析学実習 | 1 | 1 | | | |
| | | 応用作業分析学実習 | 2 | 1 | | | |
| | 作業療法 管理学 | 作業療法管理学Ⅰ | 3 | 1 | | | |
| | | 作業療法管理学Ⅱ | 4 | 1 | | | |
| | 作業療法 評価学 | 作業療法評価学 | 1 | 1 | | | |
| | | 作業療法評価学実習 | 2 | 1 | | | |
| | | 身体機能作業療法評価学 | 2 | 1 | | | |
| | | 身体機能作業療法評価学演習 | 2 | 1 | | | |
| | | 高次脳機能評価学 | 2 | 1 | | | |
| | | 精神機能作業療法評価学 | 2 | 1 | | | |
| | | 精神機能作業療法評価学実習 | 2 | 1 | | | |
| | 作業療法 治療学 | 統合作業療法学 | 4 | 1 | | | |
| 身体機能作業療法学Ⅰ | | 3 | 1 | | | | |
| 身体機能作業療法学Ⅱ | | 3 | 1 | | | | |
| 生活環境・行為学 | | 2 | 1 | | | | |
| 生活環境・行為分析学 | | 2 | 1 | | | | |
| 生活環境・行為分析学実習 | | 3 | 1 | | | | |
| 義肢装具学(含実習) | | 3 | 1 | | | | |
| 高次脳機能作業療法学 | | 3 | 1 | | | | |
| 高齢期作業療法学 | | 2 | 1 | | | | |
| 内部障害作業療法学 | | 3 | 1 | | | | |
| 発達過程作業療法学 | | 2 | 1 | | | | |
| 精神機能作業療法学 | | 3 | 1 | | | | |
| 精神機能作業療法学実習 | | 3 | 1 | | | | |
| 応用作業治療学実習 | | 3 | 1 | | | | |
| レクリエーション学 | | 3 | | 1 | | | |
| 作業療法学PBL | | 4 | | 1 | | | |
| スポーツリハビリテーション概論 | | 2 | | 1 | | | |
| スポーツリハビリテーション実習 | | 3 | | 1 | | | |
| 園芸療法 | 2 | 2 | | | | | |
| ガーデニング | 2 | | 2 | | | | |
| 園芸論 | 2 | | 2 | | | | |
| 園芸療法実習Ⅰ | 3 | | 1 | | | | |
| 園芸療法実習Ⅱ | 3 | | 1 | | | | |

作業療法学専攻（4/4）

| 分野 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 備考 |
|---------|-----------------------|-------------------|---------|----|-----|----|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専門分野 | リハビリテーション 地域・予防医学的 | 生活環境学 | 2 | 2 | | |
| | | 地域作業療法学 | 3 | 1 | | |
| | | 地域作業療法学演習 | 3 | 1 | | |
| | | 地域支援フィールドワーク | 1・2・3・4 | | 1 | |
| | | 健康増進・介護予防フィールドワーク | 1・2・3・4 | | 1 | |
| | | 認知症ケア学 | 1・2・3・4 | | 1 | |
| | | 公衆衛生学 | 1・2・3・4 | | 1 | |
| | | アロマセラピー | 1・2・3・4 | | 1 | |
| | 臨床実習 | 臨床ゼミⅠ | 1 | 1 | | |
| | | 臨床ゼミⅡ | 2 | 1 | | |
| | | 臨床実習指導Ⅰ | 1 | 1 | | |
| | | 臨床実習指導Ⅱ | 2 | 1 | | |
| | | 臨床実習指導Ⅲ | 3 | 1 | | |
| | | 臨床見学実習 | 1 | 1 | | |
| | | 臨床検査・測定実習 | 2 | 3 | | |
| | | 臨床総合実習Ⅰ | 3 | 10 | | |
| 臨床総合実習Ⅱ | 4 | 9 | | | | |
| 卒業要件単位数 | | | | | 124 | |

リハビリテーション学部 リハビリテーション学科
言語聴覚学専攻 (1/4)

| 分野 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 備考 | |
|------|-------------|------------|---------|----|----|------------------------------------|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | | |
| 基礎分野 | 人文科学系 | 心理学 | 1 | 2 | | [必修] 16単位 + [選択] 2単位以上 | |
| | | 日本語表現Ⅰ | 1 | 1 | | | |
| | | 日本語表現Ⅱ | 1 | 1 | | | |
| | | 医療倫理学 | 1・2・3・4 | 1 | | | |
| | | 教育学Ⅰ | 2 | | 2 | | |
| | | 教育学Ⅱ | 3 | | 2 | | |
| | 社会科学系 | 社会学 | 1・2・3・4 | | 1 | | |
| | | 社会福祉学 | 1・2・3・4 | 1 | | | |
| | | コミュニケーション学 | 1・2・3・4 | 1 | | | |
| | 自然科学系 | 情報処理学入門 | 1 | 1 | | | |
| | | 情報処理学応用 | 1 | 1 | | | |
| | | 医療統計学 | 2 | 1 | | | |
| | | 生物学 | 1 | 1 | | | |
| | 外国語系 | 英文法 | 1 | 2 | | | |
| | | 英文講読 | 1 | 1 | | | |
| | | 医療英語 | 2 | | 1 | | |
| | | 英会話Ⅰ | 1 | | 1 | | |
| | | 英会話Ⅱ | 1 | | 1 | | |
| 体育系 | スポーツ実技 A | 1 | 1 | | | | |
| | スポーツ実技 B | 1 | | 1 | | | |
| | ダンスレクリエーション | 3 | | 1 | | | |
| 教養 | 基礎ゼミ | 1 | 1 | | | | |

言語聴覚学専攻 (2/4)

| 分野 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 備考 |
|-------------------------|----------------|-------------------------------|-------|----|----|------------------------------------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専門基礎分野 | 基礎医学 | 解剖学Ⅰ | 1 | 1 | | [必修] 39単位 + [選択] 4単位以上 |
| | | 解剖学Ⅱ | 1 | 1 | | |
| | | 生理学 | 1 | 1 | | |
| | | 医学概論 | 1 | 1 | | |
| | | 病理学 | 1 | 1 | | |
| | | 発育発達学(含運動発達学) | 1 | | 1 | |
| | | 解剖学実習 | 2 | | 1 | |
| | | 運動学 | 1 | | 1 | |
| | 臨床医学および歯科学 | リハビリテーション医学 | 2 | 1 | | |
| | | 小児科学 | 2 | 1 | | |
| | | 内科学(含老年医学) | 2 | 1 | | |
| | | 精神医学 | 1 | 1 | | |
| | | 耳鼻咽喉科学 | 2 | 1 | | |
| | | 臨床歯科学 | 2 | 1 | | |
| | | 口腔外科学 | 2 | 1 | | |
| | | 形成外科学 | 3 | 1 | | |
| | | 神経内科学 | 2 | 1 | | |
| | | 臨床神経学 | 2 | 1 | | |
| | | 一般臨床医学 | 1 | 1 | | |
| | | 統合基礎臨床医学 | 4 | 1 | | |
| | | 産業医学 | 2・3・4 | | 1 | |
| | | 薬理学特論 | 2・3・4 | | 1 | |
| | 栄養学特論 | 2・3・4 | | 1 | | |
| | 画像診断学特論 | 2・3・4 | | 1 | | |
| | 救急医学特論 | 3 | 1 | | | |
| | 保健医療福祉とリハビリの理念 | リハビリテーション概論 (含地域リハビリテーション) | 1 | 1 | | |
| | | 関係法規 | 4 | 1 | | |
| 社会保障制度 | | 1 | 1 | | | |
| 地域包括ケアシステム・リハビリテーション論 | | 3 | 1 | | | |
| 社会福祉援助技術論 (含ケースワーク論) | | 1・2・3・4 | | 1 | | |
| 障害者福祉論 | | 1・2・3・4 | | 1 | | |
| 就労支援学 | | 3 | 1 | | | |
| 園芸療法 | | 2 | | 2 | | |
| ガーデニング | | 2 | | 2 | | |
| 園芸論 | | 2 | | 2 | | |
| 園芸療法実習Ⅰ | | 3 | | 1 | | |
| 園芸療法実習Ⅱ | | 3 | | 1 | | |

言語聴覚学専攻 (3/4)

| 分野 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 備考 | |
|--------|-----------------|---------------|------|-----|----|----|------------------------------------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | | |
| 専門基礎分野 | 心理学 | 学習・認知心理学 | 1 | 2 | | | |
| | | 生涯発達心理学 | 2 | 2 | | | |
| | | 臨床心理学Ⅰ | 2 | 1 | | | |
| | | 臨床心理学Ⅱ | 3 | 1 | | | |
| | | 心理測定法 | 3 | 1 | | | |
| | 音声言語聴覚 | 音声学 | 1 | 2 | | | |
| | | 言語学 | 2 | 2 | | | |
| | | 音響学(含演習) | 3 | 1 | | | |
| | | 言語発達学 | 2 | 1 | | | |
| | | 聴覚心理学 | 2 | 1 | | | |
| | | 音声言語聴覚医学Ⅰ(呼吸) | 2 | 1 | | | |
| | | 音声言語聴覚医学Ⅱ(聴覚) | 2 | 1 | | | |
| | 専門分野 | 卒業研究 | 研究法 | 3 | 1 | | [必修] 59単位 + [選択] 4単位以上 |
| | | | 卒業研究 | 3-4 | 3 | | |
| 卒業論文 | | | 4 | | 2 | | |
| 障害学総論 | | 言語聴覚障害概論Ⅰ | 1 | 1 | | | |
| | | 言語聴覚障害概論Ⅱ | 1 | 1 | | | |
| | | 言語聴覚障害診断学 | 3 | 1 | | | |
| | | 言語聴覚障害学総論 | 4 | 1 | | | |
| | | 統合言語聴覚学 | 4 | 1 | | | |
| | | 言語聴覚学PBL | 4 | | 1 | | |
| 法言語聴覚療 | | 言語聴覚療法管理学 | 4 | 1 | | | |
| 能高次脳機 | | 失語・高次脳機能障害学Ⅰ | 2 | 2 | | | |
| | | 失語・高次脳機能障害学Ⅱ | 3 | 2 | | | |
| | | 失語・高次脳機能障害学Ⅲ | 3 | 2 | | | |
| 達言語発 | | 言語発達障害学Ⅰ | 2 | 1 | | | |
| | 言語発達障害学Ⅱ | 2 | 2 | | | | |
| | 言語発達障害治療学Ⅰ(含演習) | 3 | 1 | | | | |
| | 言語発達障害治療学Ⅱ(含演習) | 3 | 2 | | | | |
| 燕下発語 | 音声障害学(含演習) | 3 | 1 | | | | |
| | 成人系発話障害学Ⅰ | 3 | 2 | | | | |
| | 摂食嚥下障害学(含演習) | 3 | 2 | | | | |
| | 小児系発話障害学Ⅰ | 3 | 1 | | | | |
| | 成人系発話障害学Ⅱ | 3 | 1 | | | | |
| | 小児系発話障害学Ⅱ | 3 | 1 | | | | |
| | 流暢性障害学 | 3 | 1 | | | | |

言語聴覚学専攻（4/4）

| 分野 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 備考 |
|------|-----------------------|-------------------|---------|----|----|----|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専門分野 | 聴覚障害 | 聴覚検査法（含演習） | 1 | 1 | | |
| | | 聴覚障害のコミュニケーション学 | 2 | 1 | | |
| | | 小児聴覚障害診断学 | 2 | 1 | | |
| | | 成人聴覚障害診断学 | 2 | 1 | | |
| | | 補聴器・人工内耳（含演習） | 3 | 1 | | |
| | | 聴覚障害治療学Ⅰ（含演習） | 3 | 1 | | |
| | | 聴覚障害治療学Ⅱ（含演習） | 3 | 1 | | |
| | | 視覚聴覚二重障害学（含演習） | 3 | 1 | | |
| | リハビリテーション 地域・予防医学的 | 生活環境学 | 2 | | 2 | |
| | | 地域言語聴覚学 | 3 | 1 | | |
| | | 地域支援フィールドワーク | 1・2・3・4 | | 1 | |
| | | 健康増進・介護予防フィールドワーク | 1・2・3・4 | | 1 | |
| | | スポーツリハビリテーション概論 | 2 | | 1 | |
| | | スポーツリハビリテーション実習 | 3 | | 1 | |
| | | 認知症ケア学 | 1・2・3・4 | | 1 | |
| | | 公衆衛生学 | 1・2・3・4 | | 1 | |
| | | アロマセラピー | 1・2・3・4 | | 1 | |
| | 臨床実習 | 臨床ゼミⅠ | 1 | 1 | | |
| | | 臨床ゼミⅡ | 2 | 1 | | |
| | | 臨床実習指導Ⅰ | 1 | 1 | | |
| | | 臨床実習指導Ⅱ | 2 | 1 | | |
| | | 臨床実習指導Ⅲ | 3 | 1 | | |
| | | 臨床実習概論（含演習） | 1 | 1 | | |
| | | 臨床基礎実習 | 2 | 1 | | |
| | | 臨床評価実習 | 3 | 4 | | |
| | | 臨床総合実習 | 4 | 8 | | |
| | | 卒業要件単位数 | | | | |

別表 2 納付金

入学検定料 (単位 円)

| | | |
|-------|---------------------|--------|
| 各専攻共通 | 本学が独自に実施する試験 | 30,000 |
| | 大学入学共通テストの成績を利用する試験 | 10,000 |
| | 編入学試験 | 10,000 |

入学金 (単位 円)

| | |
|-------|---------|
| 各専攻共通 | 280,000 |
|-------|---------|

ただし、編入学試験による場合は半額とする。

授業料等(年額) (単位 円)

| | 授業料 | 実習費 | 施設・設備充実費 |
|-------|-----------|---------|----------|
| 各専攻共通 | 1,150,000 | 170,000 | 250,000 |

新旧対照表（学則の変更について）

| (新) | | | | | (旧) | | | | |
|---|------|-------------|--------------|---|---|------|-------------|--------------|---|
| 第1条～第2条（略） （学部・学科の教育研究上の目的等） 第3条（略） 2 学科に属する専攻の種類，修業年限，入学定員，収容定員，並びに教育研究上の目的は次のとおりとする。 | | | | | 第1条～第2条（略） （学部・学科の教育研究上の目的等） 第3条（略） 2 学科に属する専攻の種類，修業年限，入学定員，収容定員，並びに教育研究上の目的は次のとおりとする。 | | | | |
| 専攻 | 修了年限 | 入学定員 | 収容定員 | 教育研究上の目的 | 専攻 | 修了年限 | 入学定員 | 収容定員 | 教育研究上の目的 |
| 理学療法学専攻 | 4年 | 60名 | 240名 | 科学的根拠に基づいた運動療法及び物理療法により身体機能の維持・改善を図り，また人間性の回復を支援し，他の専門職域とも連携したチーム医療のできる人材を育成する。 | 理学療法学専攻 | 4年 | 60名 | 240名 | 科学的根拠に基づいた運動療法及び物理療法により身体機能の維持・改善を図り，また人間性の回復を支援し，他の専門職域とも連携したチーム医療のできる人材を育成する。 |
| 作業療法学専攻 | 4年 | <u>50</u> 名 | <u>200</u> 名 | 科学的根拠に基づいた種々の活動により心身機能の維持・改善を図り，また人間性の回復を支援し，他の専門職域とも連携したチーム医療のできる人材を育成する。 | 作業療法学専攻 | 4年 | <u>60</u> 名 | <u>240</u> 名 | 科学的根拠に基づいた種々の活動により心身機能の維持・改善を図り，また人間性の回復を支援し，他の専門職域とも連携したチーム医療のできる人材を育成する。 |
| 言語聴覚学専攻 | 4年 | <u>30</u> 名 | <u>120</u> 名 | ことばや聞こえ，飲み込みの機能の維持・改善を図り，また人間性の回復を支援し，他の専門職域とも連携したチーム医療のできる人材を育成する。 | 言語聴覚学専攻 | 4年 | <u>40</u> 名 | <u>160</u> 名 | ことばや聞こえ，飲み込みの機能の維持・改善を図り，また人間性の回復を支援し，他の専門職域とも連携したチーム医療のできる人材を育成する。 |
| 第4条～第48条（略） 附 則 この規程は，令和7年4月1日から施行する。 | | | | | 第4条～第48条（略） | | | | |

学則の変更の趣旨等を記載した書類

【目次】

| | | |
|---|--------------------------------|---|
| ア | 学則変更（収容定員変更）の内容..... | 2 |
| イ | 学則変更（収容定員変更）の必要性..... | 3 |
| ウ | 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容..... | 4 |

ア. 学則変更（収容定員変更）の内容

本学は、近年の受験希望者の状況を踏まえ、令和 7(2025)年度入学生から、リハビリテーション学部リハビリテーション学科作業療法学専攻及び言語聴覚学専攻の入学定員を削減する。大学全体としての入学定員は 20 人削減する。

収容定員を変更する組織の概要（名称、入学定員、収容定員、所在地）

| 収容定員を変更する組織 | 入学定員 | 収容定員 | 所在地 |
|-----------------|------|------|-------------|
| 大阪河崎リハビリテーション大学 | 50 | 200 | 大阪府貝塚市水間158 |
| リハビリテーション学部 | | | |
| リハビリテーション学科 | 変更前 | 変更前 | |
| 作業療法学専攻 | 60 | 240 | |
| 大阪河崎リハビリテーション大学 | 30 | 120 | |
| リハビリテーション学部 | | | |
| リハビリテーション学科 | 変更前 | 変更前 | |
| 言語聴覚学専攻 | 40 | 160 | |

イ. 学則変更（収容定員変更）の必要性

大阪河崎リハビリテーション大学は、建学の精神「夢と大慈大悲」と教育理念「知育と人間性を育む」に則り、リハビリテーションに関する高度な知識、技術の教育・研究を通じて豊かな人間性を養い広く国民の保健・医療・福祉の向上に寄与することのできる有能な人材を育成することを目的としており、平成 18(2006)年 4 月の開設以来、大阪府及び和歌山県等におけるリハビリテーション専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）の養成の一翼を担ってきた。また本学の前身である河崎医療技術専門学校は平成 9(1997)年 4 月に開設し、当該地域に優れた理学療法士及び作業療法士の輩出をしてきた。

しかしながら、作業療法学専攻及び言語聴覚学専攻については、キャンパスの立地条件に加え、近隣の養成校の増加、18 歳人口減少等の影響もあり、入学定員を確保することが厳しい状況にある。

一方、理学療法学専攻については、令和 6(2024)年度は入学定員を減らした。これまでの入学者は、令和 2(2020)年、令和 4(2022)年、令和 6(2024)年以外の年度については開学以来定員 60 名を超える入学者が続いてきており、現在の広報活動状況からみると、定員充足の可能性はある。なお、令和 2(2020)年度以降の専攻別の入学生の状況は下表のとおりとなっている。

| 専攻 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|-------------|----|-----|----|----|----|
| 理学療法学専攻 | 40 | 74 | 52 | 65 | 30 |
| 作業療法学専攻 | 18 | 24 | 26 | 20 | 16 |
| 言語聴覚学専攻 | 16 | 19 | 15 | 13 | 10 |
| リハビリテーション学部 | 74 | 117 | 93 | 98 | 56 |
| リハビリテーション学科 | | | | | |

以上のことから、リハビリテーション学部リハビリテーション学科作業療法学専攻及び言語聴覚学専攻の入学定員を減らす（リハビリテーション学部リハビリテーション学科としては入学定員 160 人から 140 人への変更となる。）ことにより、本学志願者のニーズを充たすと共に、専攻間の入学定員充足率のアンバランスを解消し、大学全体として教育の質的充実の実現を図りたい。大学における社会的使命として、受験生からの受け入れ要請に応えつつ教育の質を保証していくためには適正な定員管理を行うことが重要である。今回定員を変更しない専攻も含め、全ての専攻において定員を適正に管理するということが重要であり、これらを総合的に考慮し、収容定員の変更を行うこととした。

今後は、適正な定員管理を行うとともに、少子高齢化社会において幅広いリハビリテーションに関する知識を修得できる新専攻の設置について検討を行う。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

今回の学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程、教育方法及び履修指導方法、教員組織（専攻ごとの教員数等）、施設・設備の変更はない。

ただし、言語聴覚士学校養成所指定規則改正（令和 7 年 4 月 1 日施行）に伴う教育課程の変更を検討しているところである。

学生確保の見通し等を記載した書類

【目次】

- (1) 収容定員を変更する組織の概要..... 2
 - ① 収容定員を変更する組織の概要（名称、入学定員、収容定員、所在地）
 - ② 収容定員を変更する組織の特色

- (2) 人材需要の社会的な動向等..... 3
 - ① 収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的社会的動向の分析
 - ② 中期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析
 - ③ 収容定員を変更する組織の主な学生募集地域
 - ④ 既設組織の定員充足の状況

- (3) 学生確保の見通し..... 4
 - ① 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果
 - ② 競合校の状況分析

- (4) 収容定員を変更する組織の定員設定の理由..... 6

(1) 収容定員を変更する組織の概要

①収容定員を変更する組織の概要（名称、入学定員、収容定員、所在地）

| 収容定員を変更する組織 | 入学定員 | 収容定員 | 所在地 |
|--|------|------|-------------|
| 大阪河崎リハビリテーション大学 リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 | 50 | 200 | 大阪府貝塚市水間158 |
| 大阪河崎リハビリテーション大学 リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻 | 30 | 120 | |

②収容定員を変更する組織の特色

ア 組織の特色

[作業療法学専攻]

科学的根拠に基づいた種々の活動により心身機能の維持・改善を図り、また人間性の回復を支援し、他の専門職域とも連携したチーム医療のできる人材を育成する。

[言語聴覚学専攻]

ことばや聞こえ、飲み込みの機能の維持・改善を図り、また人間性の回復を支援し、他の専門職域とも連携したチーム医療のできる人材を育成する。

既設組織（収容定員を変更しない組織）の特色

[理学療法学専攻]

科学的根拠に基づいた運動療法及び物理療法により身体機能の維持・改善を図り、また人間性の回復を支援し、他の専門職域とも連携したチーム医療のできる人材を育成する。

イ 収容定員変更後の予定

理学療法学専攻、作業療法学専攻及び言語聴覚学専攻の次年度の入試状況を踏まえながら、引き続き定員設定の妥当性の検討を行う。また、少子高齢化社会において幅広いリハビリテーションに関する知識を修得できる新しい専攻の設置を検討する。

(2) 人材需要の社会的な動向等

①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的社会的動向の分析

本学が位置する大阪府では第8次大阪府医療計画（2024年度～2029年度）において、基本的方向性の一つとして「超高齢社会・人口減少社会における持続可能な医療体制の構築」が掲げられ、高齢化等に伴う医療ニーズの変化への対応や、医療を支える医療従事者の確保等に取り組むことで、持続可能で切れ目のない医療体制の構築を推進するとされている。

[本学の求人数]

令和5(2023)年度中に本学に寄せられた求人状況を【資料1】に示す。

全国では、理学療法学専攻（理学療法士）2,997人、作業療法学専攻（作業療法士）2,460人、言語聴覚学専攻（言語聴覚士）1,477人の求人があった。内、大阪府内においても理学療法学専攻（理学療法士）638人、作業療法学専攻（作業療法士）521人、言語聴覚学専攻（言語聴覚士）302人の求人があり、本学の入学定員から見ても非常に高いニーズがある。

[本学の就職実績]

本学の過去3年間の就職状況を【資料2】に示す。

令和4(2022)年度は学部全体で就職率100%、令和5(2023)年度は学部全体で就職率97.5%、令和6(2024)年度は学部全体で就職率98.1%であり、高い就職率となっている。

以上のことから、本学リハビリテーション学部リハビリテーション学科の卒業予定者に対する医療機関等からのニーズは高く、就職先についても十分に確保されていることが明確である。

②中期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

我が国の18歳人口は令和6(2024)年に106万人と減少傾向であったが、令和7(2025)年は109万人であり、4年後の令和10(2028)年は107万人と今後4年間は1～3万人増加することが予想されており、中長期的な志願者確保については問題ないと思われる。

大阪府及び和歌山県の18歳人口については、令和6(2024)年と比較して令和9(2027)年までは約1,500人増加し、令和10(2028)年はほぼ横ばいとなることが予想されており、中長期的な志願者確保については問題ないと思われる。

③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域

これまでの実績から本学の主たる学生募集地域は大阪府及び和歌山県となる。今後は当該地域の重点的な広報を行いつつ、全国への指定校の拡大等、学生募集地域を広げていく。

④既設組織の定員充足の状況

本学リハビリテーション学部リハビリテーション学科の定員充足状況を別紙2に示す。入学定員充足率は直近5年間の平均で0.55である。

現在、少子高齢化社会において幅広いリハビリテーションに関する知識を修得できる新しい専攻の設置を検討しており、今後の入学定員充足状況によって、既設組織の見直しを行う予定である。

(3) 学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

[収容定員を変更する組織を含む取組状況]

本学リハビリテーション学部リハビリテーション学科の学生募集の取組として、大学案内等の志願者向け媒体やホームページ及びSNSによる情報提供、進学説明会等における受験希望者等との個別相談など積極的に活動を行っている。またオープンキャンパスの積極的な開催やマスメディアを通じた広報活動も展開している。

主な活動と実績、令和6(2024)年度の活動予定を以下に示す。

ア オープンキャンパス等の実施

令和5(2023)年度は計15回のオープンキャンパスを実施した。また、個別対応型のオープンキャンパスパーソナルや進路発見フェス等も実施した。

それぞれの参加者は【資料3】のとおりである。

令和6(2024)年度は計11回のオープンキャンパスを計画している。例年3月に行っているオープンキャンパスでは参加者が前年比で約2倍となり、入学者の確保が見込まれるスタートとなった。具体的な実施内容は、カワリハまるわかり講座・3専攻まるごと体験授業・特別講座・入試説明・昼食&学生フリートーク・個別相談・キャンパスツアーを行い、本学の特色や教育環境を在学生の協力を得て参加者に伝えるものとなっている。また、前年度に引き続き個別対応型のオープンキャンパスパーソナルを行うほか、Zoomを活用したオンライン個別相談会の実施も予定している。

イ 高校訪問の実施

本学では積極的に高校訪問を行い、理学療法士国家試験受験資格、作業療法士国家試験受験資格、言語聴覚士国家試験受験資格が得られること、各療法士の具体的な職業についての説明、園芸療法士等の資格が得られること、非常に多い求人件数や高い就職率の実績がある等、本学の特色等について説明を行い、学生確保に努める予定である。

ウ 学外進学ガイダンス等参加状況

令和 5(2023)年度は学外進学ガイダンス計 76 件に参加した。令和 6(2024)年度は 4 月から 7 月までで 52 件の参加を予定しており、前年度をはるかに上回る参加になる見込みである。高校生の進路検討開始時期は早まっており、志望校絞り込みが早期化していることを受け、理系文系コースや分野選択の時期である 4 月から夏前にかけての学外進学ガイダンスは、高校訪問と同様に本学の特色等について説明を行い、学生確保に努める予定である。【資料 4】

また、令和 5(2023)年度及び令和 6(2024)年度における進学情報誌及び進学情報サイトへの掲載状況（掲載予定を含む）は【資料 5】のとおりである。

②競合校の状況分析

本学が位置する大阪府の私立大学におけるリハビリテーション学部の設置状況は、理学療法学科及び専攻を持つ大学は 12 大学（藍野大学、大阪電気通信大学、大阪人間科学大学、大阪保健医療大学、大阪行岡医療大学、関西医科大学、関西医療大学、関西福祉科学大学、四條畷学園大学、森ノ宮医療大学、大和大学）である。

また、作業療法学科及び専攻を持つ大学は 10 大学（藍野大学、大阪人間科学大学、大阪保健医療大学、関西医科大学、関西医療大学、関西福祉科学大学、四條畷学園大学、森ノ宮医療大学、大和大学）である。

言語聴覚学科及び専攻を持つ大学は 5 大学（大阪人間科学大学、関西福祉科学大学、森ノ宮医療大学、大和大学）である。また大阪保健医療大学は 2 年課程の専攻科を設置している。

上述のとおり、大阪府内の競合校の状況は、学部に学科を設けている大学と学科に専攻を設けている大学があり、学科及び専攻ごとのデータが公表されていない場合もあるため、入学志願状況の正確な集計・分析は不可能である。

[本学の優位性]

ア 様々な資格取得が可能

本学の教育課程の大きな特徴は、園芸療法士、初級パラスポーツ指導員や認知症ケア准専門士、福祉住環境コーディネーターなど、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士だけでなく様々な資格を在学中に取得できることである。

イ 園芸療法の実践

上述のとおり園芸療法士資格が全専攻で取得可能なほか、園芸療法用に整備された2つのガーデンで実践的に園芸療法を学ぶことが可能である。

ウ 大学院及び認知予備力センターによる研究活動

本学では認知予備力研究センターの設置を契機として、基礎的・臨床的研究を推進するための外部からの研究費獲得の増加が見られるようになったことや、令和4(2022)年度に大学院を開設したことにより、高度な研究活動を実施し、教育に還元することが可能となっている。

エ 学部研究科連携による教育の充実

学部と研究科の連携により、先駆的な教育を実施する。具体的には令和5(2023)年度から実施している療法士のリスキリング講座の展開による新しい働き方の開拓や貝塚市と民間企業との産学官連携活動であり、教育の活性化が期待できる。

[学生納付金等の金額設定]

収容定員を変更する組織について、学生納付金等の変更は行わない。

(4) 収容定員を変更する組織の定員設定の理由

リハビリテーション学部リハビリテーション学科が目指す、リハビリテーションに関する高度な知識、技術の教育・研究を通じて豊かな人間性を養い広く国民の保健・医療・福祉の向上に寄与することのできる有能な人材を育成することは、少子高齢化が進む我が国において、今後も重要不可欠である。

しかしながら、18歳人口の減少に対する収容定員の充足をさせるという観点から、教育の質をさらに向上し充実させるため、入学定員の20人減員を設定した。

具体的には作業療法学専攻及び言語聴覚学専攻の入学定員を10人減員する。理学療法学専攻については次年度の入試状況を踏まえながら、引き続き定員設定の妥当性の検討を行う。

リハビリテーション学部リハビリテーション学科

| 専攻名 | 変更前入学定員 | 変更後入学定員 | 備考 |
|---------|---------|---------|-------|
| 理学療法学専攻 | 60人 | 60人 | 変更なし |
| 作業療法学専攻 | 60人 | 50人 | 10人減員 |
| 言語聴覚学専攻 | 40人 | 30人 | 10人減員 |

学生確保の見通し等を記載した書類（資料）

【目次】

| | | |
|--------|--|----|
| 【別紙 1】 | 収容定員を変更する組織が置かれる都道府県への入学状況 | 2 |
| 【別紙 2】 | 既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間） | 3 |
| 【別紙 3】 | 既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績 | 4 |
| 【資料 1】 | 令和 5 年度 求人施設及び求人件数..... | 5 |
| 【資料 2】 | 過去 3 年の就職状況 | 6 |
| 【資料 3】 | オープンキャンパス実施状況（2023 年度・2024 年度）等 | 8 |
| 【資料 4】 | 学外進学ガイダンス等参加状況（2023 年度・2024 年度） | 10 |
| 【資料 5】 | 進学情報誌及び進学情報サイトへの掲載状況（掲載予定を含む）（2023 年度～2024 年度） | 13 |

収容定員を変更する組織が置かれる都道府県への入学状況

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位5都道府県）※直近年度

| | 都道府県名 | 人 数 | 構成比 |
|---|-------|---------|--------|
| 1 | 大阪府 | 28,156人 | 49.3% |
| 2 | 兵庫県 | 7,486人 | 13.1% |
| 3 | 京都府 | 3,156人 | 5.5% |
| 4 | 奈良県 | 2,919人 | 5.1% |
| 5 | 和歌山県 | 1,657人 | 2.9% |
| | 全 体 | 57,089人 | 100.0% |

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○収容定員を変更する組織が置かれる都道府県の定員充足状況

| | 所在地 (都道府県) | 充足率 | | |
|---|---------------|---------|---------|---------|
| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 1 | 大阪府 | 103.74% | 102.97% | 101.38% |

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○収容定員を変更する組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

| | 系統区分 | 充足率 | | |
|---|-------------|---------|--------|--------|
| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 1 | リハビリテーション学部 | 101.40% | 97.24% | 95.44% |

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

大学学部学科等名：大阪河崎リハビリテーション大学リハビリテーション学部リハビリテーション学科
 （大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

| | | R2年度入学者 | R3年度入学者 | R4年度入学者 | R5年度入学者 | R6年度入学者 | 平均 | |
|----------|-----------|----------|---------|---------|---------|---------|------|-------|
| 総合型選抜 | 募集人数 | 27人 | 72人 | 79人 | 80人 | 80人 | 68人 | |
| | 延べ人数 | 志願者数 | 76人 | 159人 | 107人 | 121人 | 63人 | 105人 |
| | | 受験者数 | 73人 | 156人 | 100人 | 118人 | 61人 | 102人 |
| | | 合格者数 | 43人 | 94人 | 57人 | 72人 | 42人 | 62人 |
| | | うち追加合格者数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 |
| | | 辞退者数 | 13人 | 43人 | 27人 | 40人 | 23人 | 29人 |
| | 実人数 | 志願者数 | 47人 | 104人 | 69人 | 77人 | 47人 | 69人 |
| | | 受験者数 | 45人 | 102人 | 65人 | 75人 | 46人 | 67人 |
| | | 合格者数 | 42人 | 91人 | 52人 | 69人 | 41人 | 59人 |
| | | うち追加合格者数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 |
| | | 辞退者数 | 12人 | 40人 | 22人 | 37人 | 22人 | 27人 |
| | 入学者数 | 30人 | 51人 | 30人 | 32人 | 19人 | 32人 | |
| | 学校推薦型選抜 | 募集人数 | 56人 | 32人 | 44人 | 43人 | 43人 | 44人 |
| 延べ人数 | | 志願者数 | 36人 | 49人 | 53人 | 57人 | 34人 | 46人 |
| | | 受験者数 | 36人 | 49人 | 53人 | 57人 | 34人 | 46人 |
| | | 合格者数 | 32人 | 49人 | 53人 | 57人 | 34人 | 45 |
| | | うち追加合格者数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0 |
| | | 辞退者数 | 7人 | 0人 | 3人 | 2人 | 2人 | 2.8 |
| 実人数 | | 志願者数 | 32人 | 49人 | 53人 | 57人 | 34人 | 45 |
| | | 受験者数 | 32人 | 49人 | 53人 | 57人 | 34人 | 45 |
| | | 合格者数 | 32人 | 49人 | 53人 | 57人 | 34人 | 45 |
| | | うち追加合格者数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0 |
| | | 辞退者数 | 7人 | 0人 | 3人 | 2人 | 2人 | 2.8 |
| 入学者数 | | 25人 | 49人 | 50人 | 55人 | 32人 | 42.2 | |
| 一般選抜 | | 募集人数 | 55人 | 43人 | 26人 | 26人 | 26人 | 35.2 |
| | 延べ人数 | 志願者数 | 115人 | 156人 | 129人 | 111人 | 53人 | 112.8 |
| | | 受験者数 | 104人 | 143人 | 125人 | 95人 | 52人 | 103.8 |
| | | 合格者数 | 58人 | 54人 | 44人 | 51人 | 21人 | 45.6 |
| | | うち追加合格者数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0 |
| | | 辞退者数 | 41人 | 41人 | 31人 | 40人 | 15人 | 33.6 |
| | 実人数 | 志願者数 | 111人 | 140人 | 100人 | 89人 | 46人 | 97.2 |
| | | 受験者数 | 100人 | 132人 | 98人 | 78人 | 45人 | 90.6 |
| | | 合格者数 | 58人 | 51人 | 43人 | 46人 | 21人 | 43.8 |
| | | うち追加合格者数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0 |
| | | 辞退者数 | 41人 | 38人 | 30人 | 36人 | 15人 | 32 |
| | 入学者数 | 17人 | 15人 | 13人 | 11人 | 6人 | 12.4 | |
| | 共通テスト利用入試 | 募集人数 | 16人 | 13人 | 11人 | 11人 | 11人 | 12.4 |
| 延べ人数 | | 志願者数 | 29人 | 16人 | 14人 | 13人 | 10人 | 16.4 |
| | | 受験者数 | 29人 | 16人 | 14人 | 13人 | 10人 | 16.4 |
| | | 合格者数 | 20人 | 9人 | 6人 | 10人 | 8人 | 10.6 |
| | | うち追加合格者数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0 |
| | | 辞退者数 | 18人 | 7人 | 6人 | 10人 | 8人 | 9.8 |
| 実人数 | | 志願者数 | 26人 | 16人 | 10人 | 11人 | 6人 | 13.8 |
| | | 受験者数 | 26人 | 16人 | 10人 | 11人 | 6人 | 13.8 |
| | | 合格者数 | 20人 | 9人 | 6人 | 10人 | 6人 | 10.2 |
| | | うち追加合格者数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0 |
| | | 辞退者数 | 18人 | 7人 | 6人 | 10人 | 6人 | 9.4 |
| 入学者数 | | 2人 | 2人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0.8 | |
| その他の特別選抜 | | 募集人数 | 6人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 1.2 |
| | 延べ人数 | 志願者数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0 |
| | | 受験者数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0 |
| | | 合格者数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0 |
| | | うち追加合格者数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0 |
| | | 辞退者数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0 |
| | 実人数 | 志願者数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0 |
| | | 受験者数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0 |
| | | 合格者数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0 |
| | | うち追加合格者数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0 |
| | | 辞退者数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0 |
| | 入学者数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0 | |
| | 合計 | 募集人数 | 160人 | 160人 | 160人 | 160人 | 160人 | 160人 |
| 延べ人数 | | 志願者数 | 256人 | 380人 | 303人 | 302人 | 160人 | 280人 |
| | | 受験者数 | 242人 | 364人 | 292人 | 283人 | 157人 | 268人 |
| | | 合格者数 | 153人 | 206人 | 160人 | 190人 | 105人 | 163人 |
| | | うち追加合格者数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 |
| | | 辞退者数 | 79人 | 91人 | 67人 | 92人 | 48人 | 75人 |
| 実人数 | | 志願者数 | 216人 | 309人 | 232人 | 234人 | 133人 | 225人 |
| | | 受験者数 | 203人 | 299人 | 226人 | 221人 | 131人 | 216人 |
| | | 合格者数 | 152人 | 200人 | 154人 | 182人 | 102人 | 158人 |
| | | うち追加合格者数 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 |
| | | 辞退者数 | 78人 | 85人 | 61人 | 85人 | 45人 | 71人 |
| 入学者数 | | 74人 | 117人 | 93人 | 98人 | 57人 | 88人 | |

3. 入学定員充足率

| | H31年度入学者 | R2年度入学者 | R3年度入学者 | R4年度入学者 | R5年度入学者 | 平均 |
|---------|----------|---------|---------|---------|---------|------|
| 入学定員 | 160人 | 160人 | 160人 | 160人 | 160人 | 160 |
| 入学定員充足率 | 0.46 | 0.73 | 0.58 | 0.61 | 0.36 | 0.55 |
| 歩留率 | 0.48 | 0.57 | 0.58 | 0.52 | 0.54 | 0.54 |

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
 ・編入生除く
 ・H31、R2については、総合型選抜はA0入試、学校推薦型選抜は推薦入試と指定校制推薦の数字を入力。
 ・実人数は第2志望を除いた数

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

①募集を行った学科等名称及び取組の名称： オープンキャンパス

| | R5年度入試 | R6年度入試 | 取組概要と入学者数等に関する分析 |
|-------------|--------|--------|---|
| 参加者等総数(a) | 309人 | 273人 | ①取組概要 受験希望者を対象として開催し、特色や魅力の紹介、模擬授業、入試説明、在学生との懇談、施設案内を実施。 R5年度入試対象(R4開催)：計13回開催(3/21・4/17・5/29・6/5・6/19・7/10・7/31・8/7・8/21・9/4・10/30・11/27・12/18) R6年度入試対象(R5開催)：計15回開催(3/26・4/23・5/28・6/4・6/18・7/9・7/23・7/30・8/5・8/6・8/20・9/3・10/22・11/26・12/23) ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。 R7年度入試対象(R6開催)のオープンキャンパスは計11回を予定。来校してからの受験率は高いため、年間回数は削減するが、入試とオープンキャンパスを連動させた構成内容に変更し、より積極的にオープンキャンパスに関する広報を行い、来校数と年内入試受験者数及び入学者数の増加を目指す。 |
| うち受験対象者数(b) | 180人 | 130人 | |
| うち受験者数(c) | 89人 | 49人 | |
| うち入学者数(d) | 79人 | 42人 | |
| (受験率 c/b) | 49.4% | 37.7% | |
| (入学率 d/b) | 43.9% | 32.3% | |

※参加者等総数は保護者等を除く延べ数、参加者等総数以外は実数。

②募集を行った学科等名称及び取組の名称： オープンキャンパスパーソナル・進学相談会

| | R5年度入試 | R6年度入試 | 取組概要と入学者数等に関する分析 |
|-------------|--------|--------|---|
| 参加者等総数(a) | 19人 | 7人 | ①取組概要 【オープンキャンパスパーソナル】月～土曜日に受験希望者を対象として随時開催 【進学相談会】R5年度入試対象(R4開催)：計3回開催(3/25・4/29・7/24)・R6年度入試対象(R5開催)：計2回開催(3/12・8/1～8/4) 特色の紹介、入試説明、施設案内等を個別対応で実施。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。 個別対応型イベント(進学相談会)は、コロナ禍では需要があったが、年々緩和されていくにつれ、通常のオープンキャンパスに参加する傾向にある為、次年度は実施しない。ただし、平日対応型のオープンキャンパスパーソナルについては、土日でのタイミングの合わない参加者のニーズに合わせて、継続して実施。 個別対応型イベント(オープンキャンパスパーソナル、進学相談会)の参加者は入学意欲が高い。年間11回開催予定のオープンキャンパスに参加できない者に対して、都合の良い時間帯に普段の大学の雰囲気を感じることができ、個別にじっくりと話が聞けることをよりアピールして、受験者数及び入学者数の増加を目指す。 |
| うち受験対象者数(b) | 18人 | 7人 | |
| うち受験者数(c) | 13人 | 3人 | |
| うち入学者数(d) | 12人 | 3人 | |
| (受験率 c/b) | 72.2% | 42.9% | |
| (入学率 d/b) | 66.7% | 42.9% | |

※すべて実数

③募集を行った学科等名称及び取組の名称： 資料請求

| | R5年度入試 | R6年度入試 | 取組概要と入学者数等に関する分析 |
|-------------|--------|--------|---|
| 参加者等総数(a) | 6772人 | 7362人 | ①取組概要 媒体内容を毎年見直し、資料請求から来校から出願、入学に至るまで一定数いることから、資料請求数を伸ばす取り組みを行ってきた。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。 資料請求数は伸びているものの、来校、受験率は減少傾向である。伸びている資料請求者を無駄にしないために、来校に繋がるよう「HPと大学案内をリニューアル」し、本学の見せ方を換え、受験者数及び入学者数の増加を目指す。また、本学への意識付けも必要になるため、資料請求時に得たリストに対し、DM(ハガキ・メール・LINE)を例年より実施回数を増加し、オープンキャンパスへの参加にも繋げる。 |
| うち受験対象者数(b) | 5932人 | 5682人 | |
| うち受験者数(c) | 222人 | 124人 | |
| うち入学者数(d) | 59人 | 31人 | |
| (受験率 c/b) | 3.7% | 2.2% | |
| (入学率 d/b) | 1.0% | 0.5% | |

※入学者数以外は延べ人数

④募集を行った学科等名称及び取組の名称： 進学ガイダンス

| | R5年度入試 | R6年度入試 | 取組概要と入学者数等に関する分析 |
|-------------|--------|--------|--|
| 参加者等総数(a) | 625人 | 425人 | ①取組概要 高等学校内や校外で開催される進学ガイダンスに積極的に参加し、大学の特色や魅力の紹介、分野説明や模擬授業を実施。 R5年度入試対象(R4開催)：年間104回参加、資料頒布会25回参加 R6年度入試対象(R5開催)：年間100回参加、資料頒布会18回参加 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。 高校生に本学の特色、魅力などを直接説明できる良い機会であることから、参加回数を増やし、話がしやすい若手教員や職員を派遣する。また、ガイダンス参加者に対して、来校意欲を高めるためのインセンティブとして参加者限定のプレゼントを提供することで来効率を上げる。来校者に対しては、充実した内容で本学の特色や魅力を伝え、入学者数の確保に繋げる。 |
| うち受験対象者数(b) | 278人 | 256人 | |
| うち受験者数(c) | 88人 | 38人 | |
| うち入学者数(d) | 24人 | 12人 | |
| (受験率 c/b) | 31.7% | 14.8% | |
| (入学率 d/b) | 8.6% | 4.7% | |

※入学者数以外は延べ人数

資料1

令和5年度 求人施設及び求人数

※求人状況 令和5年4月1日～令和6年3月31日

キャリアセンター

1. 求人件数

| 年度 | 累計 | 理学療法士 | 作業療法士 | 言語聴覚士 | その他 | 計 |
|-------|------|-------|-------|-------|-----|--------|
| 令和5年度 | 求人施設 | 588 | 569 | 521 | | 1,678 |
| 令和4年度 | 求人施設 | 803 | 818 | 703 | 73 | 2,397 |
| 令和3年度 | 求人施設 | 763 | 830 | 693 | 60 | 2,346 |
| 令和5年度 | 求人数 | 2,997 | 2,460 | 1,477 | | 6,934 |
| 令和4年度 | 求人数 | 5,057 | 4,707 | 2,595 | 423 | 12,782 |
| 令和3年度 | 求人数 | 4,438 | 4,329 | 2,470 | 335 | 11,572 |

3. 月別求人施設 受付数

| 受付月 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | PT | OT | ST | その他 | 計 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|
| 前年度 | 93 | 136 | 110 | 62 | 27 | 243 | 160 | 92 | | 495 |
| 4月 | | | | 54 | 63 | 250 | 207 | 86 | | 543 |
| 5月 | 179 | 75 | 75 | 110 | 94 | 456 | 386 | 228 | | 1,070 |
| 6月 | 152 | 167 | 181 | 174 | 151 | 859 | 739 | 425 | | 2,023 |
| 7月 | 227 | 160 | 149 | 174 | 117 | 401 | 322 | 209 | | 932 |
| 8月 | 182 | 119 | 138 | 134 | 93 | 213 | 181 | 133 | | 527 |
| 9月 | 94 | 111 | 139 | 94 | 50 | 124 | 108 | 60 | | 292 |
| 10月 | 127 | 127 | 85 | 107 | 70 | 99 | 84 | 76 | | 259 |
| 11月 | 105 | 77 | 87 | 75 | 29 | 27 | 31 | 29 | | 87 |
| 12月 | 66 | 62 | 58 | 59 | 34 | 39 | 31 | 20 | | 90 |
| 1月 | 44 | 37 | 47 | 42 | 19 | 30 | 21 | 15 | | 66 |
| 2月 | 74 | 65 | 53 | 64 | 35 | 48 | 37 | 31 | | 116 |
| 3月 | 17 | 23 | 20 | 8 | 8 | 208 | 153 | 73 | | 434 |
| 計 | 1,360 | 1,159 | 1,142 | 1,157 | 790 | 2,997 | 2,460 | 1,477 | | 6,934 |

2. 都道府県別求人施設数及び求人数

| 都道府県 | 求人施設数 | PT | OT | ST | その他 | 計 | 地方別計 |
|------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|
| 北海道 | 4 | 3 | 4 | 5 | | 12 | 12 |
| 青森県 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 東北 |
| 岩手県 | 1 | 0 | 0 | 1 | | 1 | 1 |
| 宮城県 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | |
| 秋田県 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | |
| 山形県 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | |
| 福島県 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | |
| 茨城県 | 3 | 17 | 7 | 8 | | 32 | 関東 |
| 栃木県 | 3 | 17 | 12 | 14 | | 43 | 3,451 |
| 群馬県 | 1 | 4 | 6 | 2 | | 12 | |
| 埼玉県 | 28 | 413 | 289 | 131 | | 833 | |
| 千葉県 | 34 | 255 | 178 | 101 | | 534 | |
| 東京都 | 72 | 661 | 603 | 315 | | 1,579 | |
| 神奈川県 | 45 | 172 | 139 | 107 | | 418 | |
| 新潟県 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 中部/北陸 |
| 山梨県 | 4 | 14 | 7 | 2 | | 23 | 422 |
| 長野県 | 6 | 8 | 5 | 7 | | 20 | |
| 岐阜県 | 1 | 0 | 0 | 2 | | 2 | |
| 静岡県 | 7 | 72 | 47 | 18 | | 137 | |
| 愛知県 | 26 | 43 | 53 | 53 | | 149 | |
| 三重県 | 12 | 16 | 13 | 16 | | 45 | |
| 富山県 | 5 | 3 | 7 | 5 | | 15 | |
| 石川県 | 6 | 3 | 5 | 8 | | 16 | |
| 福井県 | 4 | 6 | 8 | 1 | | 15 | |
| 滋賀県 | 22 | 32 | 26 | 15 | | 73 | 近畿 |
| 京都府 | 37 | 123 | 103 | 51 | | 277 | 2,487 |
| 大阪府 | 234 | 638 | 521 | 302 | | 1,461 | |
| 兵庫県 | 80 | 202 | 145 | 105 | | 452 | |
| 奈良県 | 19 | 35 | 39 | 32 | | 106 | |
| 和歌山県 | 36 | 53 | 35 | 30 | | 118 | |
| 鳥取県 | 2 | 0 | 2 | 3 | | 5 | 中国 |
| 島根県 | 4 | 4 | 4 | 1 | | 9 | 254 |
| 岡山県 | 11 | 13 | 13 | 13 | | 39 | |
| 広島県 | 21 | 67 | 68 | 39 | | 174 | |
| 山口県 | 7 | 7 | 14 | 6 | | 27 | |
| 徳島県 | 8 | 18 | 14 | 5 | | 37 | 四国 |
| 香川県 | 5 | 19 | 17 | 10 | | 46 | 154 |
| 愛媛県 | 10 | 12 | 11 | 9 | | 32 | |
| 高知県 | 3 | 17 | 11 | 11 | | 39 | |
| 福岡県 | 13 | 12 | 13 | 19 | | 44 | 九州 |
| 佐賀県 | 2 | 1 | 2 | 2 | | 5 | 132 |
| 長崎県 | 6 | 13 | 12 | 12 | | 37 | |
| 熊本県 | 1 | 0 | 2 | 3 | | 5 | |
| 大分県 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | |
| 宮崎県 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | |
| 鹿児島県 | 4 | 14 | 15 | 12 | | 41 | |
| 沖縄県 | 3 | 10 | 10 | 1 | | 21 | 21 |
| 計 | 790 | 2,997 | 2,460 | 1,477 | | 6,934 | 6,934 |

4. 求人施設分類

| 分類 | 令和5年度 | 割合% |
|------------|-------|------|
| | 施設数 | |
| 病院 | 530 | 67.1 |
| 診療所 | 40 | 5.1 |
| 訪問リハ | 11 | 1.4 |
| 通所型施設 | 6 | 0.8 |
| 高齢者関連施設・老健 | 25 | 3.2 |
| 児童関連施設・小児 | 28 | 3.5 |
| 障害者関連施設 | 10 | 1.3 |
| 教育機関 | 40 | 5.1 |
| 行政施設・公務員 | 93 | 11.8 |
| その他 | 7 | 0.9 |
| 計 | 790 | 100% |

5. 給与水準【平均】

| ■リハビリ職 | 令和5年度 | |
|--------|---------|---------|
| | 基本給 | 総支給額 |
| 令和5年度 | 204,598 | 227,634 |
| 令和4年度 | 201,752 | 224,076 |
| 令和3年度 | 199,827 | 222,819 |
| 令和2年度 | 201,762 | 224,231 |
| 令和元年度 | 201,335 | 223,192 |

過去3年の就職状況

2022年3月卒業 所属別進路決定状況

リハビリテーション学部リハビリテーション学科

| コース | 卒業者数 | 就職希望者数 | 就職者数 (就職率※) | 進学者数 | その他 |
|---------|------|--------|-------------|------|-----|
| 理学療法学専攻 | 41 | 38 | 38 (100%) | 0 | 0 |
| 作業療法学専攻 | 32 | 24 | 24 (100%) | 0 | 0 |
| 言語聴覚学専攻 | 16 | 13 | 13 (100%) | 0 | 0 |
| 学部学科計 | 89 | 75 | 75 (100%) | 0 | 0 |

(※) 就職者数/就職希望者数 (%)

2023年3月卒業 所属別進路決定状況

リハビリテーション学部リハビリテーション学科

| コース | 卒業者数 | 就職希望者数 | 就職者数 (就職率※) | 進学者数 | その他 |
|---------|------|--------|-------------|------|-----|
| 理学療法学専攻 | 50 | 45 | 43 (95.6%) | 0 | 0 |
| 作業療法学専攻 | 29 | 24 | 24 (100%) | 0 | 0 |
| 言語聴覚学専攻 | 13 | 10 | 10 (100%) | 0 | 0 |
| 学部学科計 | 82 | 79 | 77 (97.5%) | 0 | 0 |

(※) 就職者数/就職希望者数 (%)

2024年3月卒業 所属別進路決定状況

リハビリテーション学部リハビリテーション学科

| コース | 卒業者数 | 就職希望者数 | 就職者数 (就職率※) | 進学者数 | その他 |
|---------|------|--------|-------------|------|-----|
| 理学療法学専攻 | 32 | 31 | 31 (100%) | 0 | 0 |
| 作業療法学専攻 | 21 | 16 | 15 (93.8%) | 0 | 0 |
| 言語聴覚学専攻 | 11 | 7 | 7 (100%) | 0 | 0 |
| 学部学科計 | 64 | 54 | 53 (98.1%) | 0 | 0 |

全国のPT・OT・STの求人件数 過去3年

| | 理学療法士 | 作業療法士 | 言語聴覚士 |
|--------|-------|-------|-------|
| 2021年度 | 4,438 | 4,329 | 2,470 |
| 2022年度 | 5,057 | 4,707 | 2,595 |
| 2023年度 | 2,997 | 2,460 | 1,477 |

大阪府のPT・OT・STの求人件数 過去3年

| | 理学療法士 | 作業療法士 | 言語聴覚士 |
|--------|-------|-------|-------|
| 2021年度 | 745 | 749 | 371 |
| 2022年度 | 774 | 651 | 344 |
| 2023年度 | 638 | 521 | 302 |

和歌山県のPT・OT・STの求人件数 過去3年

| | 理学療法士 | 作業療法士 | 言語聴覚士 |
|--------|-------|-------|-------|
| 2021年度 | 106 | 96 | 35 |
| 2022年度 | 81 | 74 | 33 |
| 2023年度 | 53 | 35 | 30 |

資料3 オープンキャンパス実施状況（2023年度・2024年度）

2023年度

オープンキャンパス

| 回数 | 開催月日 | 参加者数（保護者等を除く） |
|----|---------------|---------------|
| 1 | 2023/3/26（日） | 15名 |
| 2 | 2023/4/23（日） | 21名 |
| 3 | 2023/5/28（日） | 12名 |
| 4 | 2023/6/4（日） | 16名 |
| 5 | 2023/6/18（日） | 19名 |
| 6 | 2023/7/9（日） | 23名 |
| 7 | 2023/7/23（日） | 18名 |
| 8 | 2023/7/30（日） | 28名 |
| 9 | 2023/8/5（土） | 25名 |
| 10 | 2023/8/6（日） | 20名 |
| 11 | 2023/8/20（日） | 22名 |
| 12 | 2023/9/3（日） | 20名 |
| 13 | 2023/10/22（日） | 7名 |
| 14 | 2023/11/26（日） | 16名 |
| 15 | 2023/12/23（土） | 11名 |

オープンキャンパスパーソナル（個別対応型）

| 開催月日 | 参加者数（保護者等を除く） |
|---------------|---------------|
| 2023/5/2～12/6 | 8名 |

進路発見フェス

| 開催月日 | 参加者数（保護者等を除く） |
|-------------|---------------|
| 2023/7/9（日） | 6名 |

2024年度 オープンキャンパス（予定）

| 回数 | 開催月日 | 内容等 | 参加者数 (保護者等を除く) |
|----|-----------------|--|-------------------|
| 1 | 2024/3/20 (水・祝) | カワリハまるわかり講座・3専攻まるごと体験授業・特別講座・入試説明・昼食&学生フリートーク・個別相談・キャンパスツアー | 32名 |
| 2 | 2024/4/28 (日) | カワリハまるわかり講座・3専攻まるごと体験授業・特別講座・入試説明・昼食&学生フリートーク・個別相談・キャンパスツアー | — |
| 3 | 2024/5/26 (日) | カワリハまるわかり講座・3専攻まるごと体験授業・特別講座・入試説明・昼食&学生フリートーク・個別相談・キャンパスツアー | — |
| 4 | 2024/6/16 (日) | カワリハまるわかり講座・3専攻まるごと体験授業・特別講座・入試説明・昼食&学生フリートーク・個別相談・キャンパスツアー | — |
| 5 | 2024/7/15 (月・祝) | カワリハまるわかり講座・3専攻授業見学ツアー・専攻別体験授業・特別講座・入試説明・昼食&学生フリートーク・個別相談・キャンパスツアー | — |
| 6 | 2024/7/21 (日) | カワリハまるわかり講座・専攻別体験授業・入試説明・昼食&学生フリートーク・個別相談・キャンパスツアー | — |
| 7 | 2024/8/3 (土) | カワリハまるわかり講座・専攻別体験授業・入試説明・昼食&学生フリートーク・個別相談・キャンパスツアー | — |
| 8 | 2024/8/8 (木) | カワリハまるわかり講座・専攻別体験授業・入試説明・昼食&学生フリートーク・個別相談・キャンパスツアー | — |
| 9 | 2024/8/9 (金) | カワリハまるわかり講座・専攻別体験授業・入試説明・昼食&学生フリートーク・個別相談・キャンパスツアー | — |
| 10 | 2024/8/11 (日) | カワリハまるわかり講座・専攻別体験授業・入試説明・昼食&学生フリートーク・個別相談・キャンパスツアー | — |
| 11 | 2024/9/1 (日) | カワリハまるわかり講座・専攻別体験授業・入試説明・昼食&学生フリートーク・個別相談・キャンパスツアー | — |

- ・ オープンキャンパスパーソナル（個別対応型）
- ・ オンライン個別相談会（ZOOM）

資料4

学外進学ガイダンス等参加状況（2023年度・2024年度）

2023年度 学外進学ガイダンス参加一覧

| 回数 | 開催日 | 会場名 | 開催地 | イベント区分 | 分野詳細 | 対象学年 | 参加者数 |
|----|-----------|-----------|------|--------------------|----------|------|------|
| 1 | 4月18日(火) | 大阪暁光 | 大阪府 | 分野別説明会・模擬授業/学校別説明会 | 理学・作業 | 3年 | 4 |
| 2 | 4月21日(金) | 泉鳥取 | 大阪府 | 分野別説明会・模擬授業 | リハビリ | 3年 | 1 |
| 3 | 4月22日(土) | 高石 | 大阪府 | 学校別説明会 | - | 3年 | 22 |
| 4 | 5月11日(木) | 泉大津 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 3年 | 7 |
| 5 | 5月12日(金) | 神須学園 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 3年 | 3 |
| 6 | 5月18日(木) | 和歌山東 | 和歌山県 | 学校別説明会 | - | 3年 | 2 |
| 7 | 5月24日(水) | 大阪体育大学浪商 | 大阪府 | 入試学習会 | - | 3年 | 8 |
| 8 | 5月24日(水) | 粉河 | 和歌山県 | 分野別説明会 | 言語 | 2年 | 9 |
| 9 | 5月26日(金) | 佐野 | 大阪府 | 看護医療系職業別説明会 | | 1・2年 | 2 |
| 10 | 6月7日(水) | 粉河 | 和歌山県 | 学校別説明会 | - | 3年 | 1 |
| 11 | 6月8日(木) | 泉鳥取 | 大阪府 | 学校別説明会 | - | 2・3年 | 1 |
| 12 | 6月9日(金) | 紀央館 | 和歌山県 | 学校別説明会 | | 3年 | 1 |
| 13 | 6月12日(月) | りんくう翔南 | 大阪府 | 学校別説明会 | - | 全学年 | 3 |
| 14 | 6月16日(金) | 耐久 | 和歌山県 | 学校別説明会 | - | 3年 | 4 |
| 15 | 6月21日(水) | 精華 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 3年 | 7 |
| 16 | 6月21日(水) | 紀央館 | 和歌山県 | 分野別説明会 | 作業 | 2年 | |
| 17 | 6月22日(木) | 泉大津 | 大阪府 | 模擬授業 | 作業 | 2年 | 5 |
| 18 | 6月22日(木) | 伯太 | 大阪府 | 職業別説明会 | 理学・作業 | 1年 | 4 |
| 19 | 6月24日(土) | 大阪商業大学堺 | 大阪府 | 学校別説明会 | - | 全学年 | 12 |
| 20 | 6月29日(木) | 大阪商業大学堺 | 大阪府 | オープンキャンパスガイダンス | | 2年 | 3 |
| 21 | 6月29日(木) | 大阪緑涼 | 大阪府 | 分野別説明会 | 理学・作業 | 1年 | 4 |
| 22 | 7月6日(木) | 和歌山北(北校舎) | 和歌山県 | 分野別説明会 | 理学・作業 | 2年 | 6 |
| 23 | 7月7日(金) | 和歌山商業 | 和歌山県 | 分野別説明会 | | 2年 | 2 |
| 24 | 7月18日(火) | 耐久 | 和歌山県 | 分野別説明会 | 理学 | 1・2年 | 44 |
| 25 | 7月19日(水) | 岸和田市立産業 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 26 | 8月25日(金) | りんくう翔南 | 大阪府 | 学校別説明会+志望理由書講座 | | 3年 | 4 |
| 27 | 8月29日(火) | 岸和田市立産業 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 2年 | 1 |
| 28 | 9月15日(金) | 清明学院 | 大阪府 | 模擬授業 | 心理学 | 2年 | |
| 29 | 10月12日(木) | 貝塚 | 大阪府 | 分野別説明会 | 理学・作業 | 2年 | 2 |
| 30 | 10月16日(月) | 高石 | 大阪府 | 模擬授業 | リハビリ | 1年 | |
| 31 | 10月18日(水) | 市立和歌山 | 和歌山県 | 分野別説明会 | 理学・作業 | 2年 | 5 |
| 32 | 10月19日(木) | 泉大津 | 大阪府 | 模擬授業 | 理学・作業 | 1年 | 5 |
| 33 | 10月19日(木) | 貝塚 | 大阪府 | 分野別模擬授業 | 言語 | 1年 | 2 |
| 34 | 11月1日(水) | 久米田 | 大阪府 | 分野別説明会 | 理学・作業 | 2年 | 8 |
| 35 | 11月2日(木) | 大阪商業大学堺 | 大阪府 | 職業説明 | リハビリ | 1年 | 17 |
| 36 | 11月8日(水) | 粉河 | 和歌山県 | 分野別説明会 | 理学・作業 | 2年 | 11 |
| 37 | 11月8日(水) | 羽衣学園 | 大阪府 | 分野別説明会 | 医療 | 2年 | 18 |
| 38 | 11月9日(木) | 泉大津 | 大阪府 | 分野別入試学習会 | 理学・作業 | 2年 | 9 |
| 39 | 11月10日(金) | 堺西 | 大阪府 | 学校別説明会 | - | 1・2年 | 1 |
| 40 | 11月16日(木) | 伯太 | 大阪府 | 分野別説明会 | 医療技術 | 2年 | 1 |
| 41 | 11月16日(木) | りんくう翔南 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 2年 | 2 |
| 42 | 11月17日(金) | 賢明学院 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 1・2年 | 1 |
| 43 | 11月24日(金) | 羽衣学園 | 大阪府 | 職業別説明会 | 言語 | 1年 | 5 |
| 44 | 11月28日(火) | 佐野 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 1・2年 | 1 |
| 45 | 11月29日(水) | 大阪緑涼 | 大阪府 | 分野別説明会 | 医療 | 2年 | 7 |
| 46 | 11月30日(木) | 大阪商業大学堺 | 大阪府 | 模擬授業 | | 2年 | 18 |
| 47 | 12月7日(木) | 和歌山商業 | 和歌山県 | 分野別説明会 | 看護・医療・福祉 | 1・2年 | 3 |
| 48 | 12月11日(月) | 信太 | 大阪府 | 模擬授業 | リハビリ | 1年 | |
| 49 | 12月12日(火) | 大阪学芸 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 2年 | 5 |
| 50 | 12月12日(火) | 神島 | 和歌山県 | 分野別説明会 | 理学・作業 | 2年 | 7 |
| 51 | 12月14日(木) | 岸和田市立産業 | 大阪府 | 職業別説明会 | 言語 | 1年 | 4 |

| | | | | | | | |
|----|-----------|----------|------|-------------|----------|------|----|
| 52 | 12月14日(木) | 耐久 | 和歌山県 | 入学説明会 | | 2年 | 3 |
| 53 | 12月14日(木) | 大阪体育大学浪商 | 大阪府 | 分野別説明会 | 医療 | 2年 | 11 |
| 54 | 12月14日(木) | 阿倍野 | 大阪府 | 職業別説明会 | 理学 | 1年 | 4 |
| 55 | 12月15日(金) | 狭山 | 大阪府 | 分野別模擬授業 | 理学 | 1・2年 | 5 |
| 56 | 12月20日(水) | 精華 | 大阪府 | 分野別説明会 | 医療 | 1・2年 | |
| 57 | 12月20日(水) | 紀央館 | 和歌山県 | 分野別説明会 | 理学・作業 | 2年 | 3 |
| 58 | 1月15日(月) | 高石 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 2年 | 7 |
| 59 | 1月16日(火) | 貝塚 | 大阪府 | 職業別説明会 | 理学 | 1年 | 5 |
| 60 | 1月16日(火) | 貝塚 | 大阪府 | 職業別説明会 | 言語 | 1年 | 3 |
| 61 | 1月18日(木) | 那賀 | 和歌山県 | 学校別進路説明会 | | 2年 | 2 |
| 62 | 1月22日(月) | 大阪商業大学堺 | 大阪府 | 学校別説明会 | 看護・医療 | 1・2年 | 3 |
| 63 | 1月25日(木) | 成城 | 大阪府 | 入試学習会 | 理学・作業 | 2年 | 4 |
| 64 | 1月31日(水) | 笠田 | 和歌山県 | 職業別説明会 | 作業 | 1・2年 | 2 |
| 65 | 2月2日(金) | 和歌山商業 | 和歌山県 | 職業別説明会 | 理学・作業・言語 | 1年 | 18 |
| 66 | 2月2日(金) | 堺東 | 大阪府 | 職業別説明会 | 言語 | 1・2年 | 7 |
| 67 | 2月7日(水) | 市立和歌山 | 和歌山県 | 学校別入試学習会 | | 2年 | 4 |
| 68 | 2月7日(水) | 泉大津 | 大阪府 | 学校別説明会 | 作業 | 2年 | 2 |
| 69 | 2月8日(木) | あべの翔学 | 大阪府 | 学部・学科別ガイダンス | リハビリ | 1年 | 10 |
| 70 | 2月15日(木) | 東大谷 | 大阪府 | 分野別説明会 | 理学・作業 | 1年 | 8 |
| 71 | 2月21日(水) | 紀央館 | 和歌山県 | 入試学習会 | | 2年 | 1 |
| 72 | 3月4日(月) | 浪速 | 大阪府 | 模擬授業 | リハビリ | 1年 | 7 |
| 73 | 3月5日(火) | 大阪 | 大阪府 | 分野別説明会 | 理学・作業 | 1年 | 9 |
| 74 | 3月6日(水) | 粉河 | 和歌山県 | 入試学習会 | | 2年 | 4 |
| 75 | 3月7日(木) | 大阪学芸 | 大阪府 | 分野別説明会 | 理学・作業 | 2年 | 8 |
| 76 | 3月8日(金) | 会場型) 和歌山 | 和歌山県 | 会場型説明会 | | 全学年 | 3 |

2023年度 資料頒布会 参加一覧

| 回数 | 開催日 | 会場名 | 開催地 | 分野詳細 | 対象学年 | 参加者数 |
|----|-----------|-----------|------|-------|------|------|
| 1 | 5月8日(月) | 笠田 | 和歌山県 | | 3年 | 25 |
| 2 | 5月23日(火) | 大阪体育大学浪商 | 大阪府 | | 3年 | 47 |
| 3 | 6月6日(火) | りんくう翔南 | 大阪府 | | | 20 |
| 4 | 6月8日(木) | 泉鳥取 | 大阪府 | | | 10 |
| 5 | 6月8日(木) | 伯太 | 大阪府 | | | 10 |
| 6 | 6月9日(金) | 貝塚南 | 大阪府 | | | 15 |
| 7 | 6月12日(月) | 信太 | 大阪府 | | | 30 |
| 8 | 6月12日(月) | 金岡 | 大阪府 | | | 20 |
| 9 | 6月12日(月) | 泉大津 | 大阪府 | | | 15 |
| 10 | 6月13日(火) | 高石 | 大阪府 | | | 30 |
| 11 | 6月16日(金) | 東百舌鳥 | 大阪府 | | | 15 |
| 12 | 9月20日(水) | 西城陽 | 京都府 | リハビリ | 1年 | 33 |
| 13 | 10月12日(木) | 大塚 | 大阪府 | | 2年 | - |
| 14 | 10月19日(木) | 和歌山北(北校舎) | 和歌山県 | | 1年 | - |
| 15 | 11月14日(火) | 京都両洋 | 京都府 | | 2年 | 30 |
| 16 | 12月4日(月) | 大阪産業大学附属 | 大阪府 | 理学・作業 | 2年 | 103 |
| 17 | 2月7日(水) | 亀岡 | 京都府 | 理学・作業 | 1年 | 34 |
| 18 | 3月15日(金) | 和歌山北(北校舎) | 和歌山県 | 理学 | 1年 | 33 |

2024年度 学外進学ガイダンス一覧（予定）

| 回数 | 開催日 | 会場名 | 開催地 | イベント区分 | 分野詳細 | 対象学年 | 参加者数 |
|----|----------|-----------|------|----------------|-------|------|------|
| 1 | 4月19日(金) | 百合学院 | 兵庫県 | 学校別進路ガイダンス | | 3年 | 2 |
| 2 | 4月19日(金) | 和歌山工業 | 和歌山県 | 進路相談会 | | 3年 | 5 |
| 3 | 4月20日(土) | 神須学園 | 大阪府 | 進路相談会 | | 3年 | 7 |
| 4 | 4月20日(土) | 高石 | 大阪府 | 医療系総合説明・学校別説明会 | | 3年 | 26 |
| 5 | 4月24日(水) | 添上 | 奈良県 | 学校別説明会 | | 3年 | 1 |
| 6 | 4月25日(木) | 信太 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 3年 | 8 |
| 7 | 5月1日(水) | 大冠 | 大阪府 | 進路相談会 | | 3年 | |
| 8 | 5月1日(水) | 宣真 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 9 | 5月2日(木) | 東大谷 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 10 | 5月2日(木) | 八尾北 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 11 | 5月7日(火) | 笠田 | 和歌山県 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 12 | 5月8日(水) | 貝塚 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 13 | 5月8日(水) | 太成学院大学 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 14 | 5月9日(木) | 泉大津 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 15 | 5月9日(木) | 長吉 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 16 | 5月9日(木) | 桜和 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 2年 | |
| 17 | 5月10日(金) | 大阪 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 18 | 5月13日(月) | 大阪緑涼 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 19 | 5月13日(月) | 大阪青凌 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 全学年 | |
| 20 | 5月14日(火) | 金岡 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 21 | 5月15日(水) | 東大阪大学柏原 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 2・3年 | |
| 22 | 5月20日(月) | 和歌山北（西校舎） | 和歌山県 | 分野別説明会 | 理学 | 全学年 | |
| 23 | 5月21日(火) | 和歌山東 | 和歌山県 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 24 | 5月22日(水) | 大阪体育大学浪商 | 大阪府 | 入試学習会 | | 3年 | |
| 25 | 5月22日(水) | 粉河 | 和歌山県 | 分野別説明会 | 言語 | 2年 | |
| 26 | 5月23日(木) | 箕島 | 和歌山県 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 27 | 5月24日(金) | 佐野 | 大阪府 | 職業別説明会 | | 1・2年 | |
| 28 | 5月25日(土) | 浪速 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 29 | 5月27日(月) | 羽衣学園 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 30 | 5月28日(火) | 阿倍野 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 31 | 5月28日(火) | 明浄学院 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 32 | 5月29日(水) | 星翔 | 大阪府 | 分野別説明会 | 理学・作業 | 3年 | |
| 33 | 5月29日(水) | 明浄学院 | 大阪府 | 進路説明会 | | 1・2年 | |
| 34 | 5月30日(木) | 大塚 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 35 | 6月5日(水) | 貴志川 | 和歌山県 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 36 | 6月6日(木) | りんくう翔南 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 全学年 | |
| 37 | 6月7日(金) | 紀央館 | 和歌山県 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 38 | 6月10日(月) | 堺西 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 全学年 | |
| 39 | 6月11日(火) | 長野 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 40 | 6月12日(水) | 狭山 | 大阪府 | 分野別説明会 | 理学・作業 | 1年 | |
| 41 | 6月13日(木) | 日根野 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 42 | 6月13日(木) | 長野 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 2年 | |
| 43 | 6月19日(水) | 大阪緑涼 | 大阪府 | 分野別説明会 | 医療 | 2年 | |
| 44 | 6月19日(水) | 大阪偕星学園 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 45 | 6月19日(水) | 市立和歌山 | 和歌山県 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 46 | 6月20日(木) | 耐久 | 和歌山県 | 学校別説明会 | | 3年 | |
| 47 | 6月27日(木) | 大阪商業大学堺 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 2年 | |
| 48 | 7月8日(月) | 信太 | 大阪府 | 分野別説明会 | リハビリ | 2年 | |
| 49 | 7月9日(火) | 羽衣学園 | 大阪府 | 職業別説明会 | 言語 | 1・2年 | |
| 50 | 7月17日(水) | 高石 | 大阪府 | 模擬授業 | リハビリ | 1年 | |
| 51 | 7月18日(木) | 貝塚 | 大阪府 | 分野別説明会 | 理学・作業 | 2年 | |
| 52 | 7月18日(木) | 岸和田市立産業 | 大阪府 | 学校別説明会 | | 3年 | |

・資料頒布会も参加予定

進学情報誌及び進学情報サイトへの掲載状況(掲載予定を含む)(2023年度～2024年度)

2023年度 実績

情報誌への掲載

| | 会社名 | WEB・雑誌名 | タイトル | 発行年 |
|---|--------------|--------------|--------------------|------------|
| 1 | リクルート | 進学事典 | 4月 | 2023年3月 |
| | | 進学事典 | 12月 | 2023年12月 |
| | | スタディサプリ受験 | | 2023年4月 |
| 2 | フロムページ | テレメール進学カタログ | 新学年スタート号 | 2023年4月 |
| | | | 志望学部学科決定 | 2023年4月 |
| | | | SELF BRAND | 2023年4月 |
| | | | 入試直前激励号/大学受験いざ挑戦! | |
| 3 | マイナビ | マイナビ進学ガイド | 学校情報号 | 2023年5月 |
| 4 | キッズ・コーポレーション | 西日本版 | 春のオープンキャンパスブック | 2023年2月 |
| | | 近畿版/東海版 | 進学の森 | 2023年4月 |
| | | 近畿版 | オープンキャンパスブック | 2023年6月 |
| | | 近畿・四国・中国版 | 進路計画 | 2023年9月 |
| 5 | JSコーポレーション | 大学情報 | 進路徹底研究 | 2023年12月 |
| 6 | 進研アド | マナビビジョンブック | 学問発見ナビ | 2023年6月 |
| | | | 大学発見ナビ | 2024年1月 |
| | | | 高校生スタート号 | 2024年3月 |
| 7 | ケーホウ | 看護医療系ガイドブック | Vアクセス(スタート号・受験準備号) | 2023年3月・8月 |
| | | 進学のためのガイドブック | 推薦・AO入試編 | 2023年5月 |
| 8 | さんぼう | 近畿版 | 大学・短大まるわかり事典 | 2023年4月 |
| 9 | 進路サポートセンター | 進路サポートブック | | 2023年4月 |

進学情報サイトへの掲載

| | 会社名 | サイト名 | URL | 掲載年月 |
|---|--------------|----------------|---|---------|
| 1 | リクルート | スタディサプリ進路 | https://shingakunet.com/gakko/SC004796/ | 2023年3月 |
| 2 | フロムページ | テレメール進学サイト | https://telemail.jp/shingaku/university/10001081/req_uest | 2023年4月 |
| 3 | キッズ・コーポレーション | 進学ナビ | https://www.shingakunavi.ne.jp/ | 2023年3月 |
| 4 | マイナビ | マイナビ進学 | https://shingaku.mynavi.jp/gakkou/3152/ | 2023年3月 |
| 5 | 進研アド | Benesseマナビビジョン | https://manabi.benesse.ne.jp/daigaku/school/3671/index.html | 2023年3月 |
| 6 | ベスト進学ネット | ベスト進学ネット | https://www.best-shingaku.net/daigaku/school2249/ | 2023年4月 |
| 7 | ケーホウ | ONLINE学校紹介版 | https://kehou.jp/all_schools/content.php?ID=1005 | 2023年4月 |
| | | ONLINE分野紹介版 | https://kehou.jp/vocational/Field-20/content.php https://kehou.jp/vocational/Field-21/content.php https://kehou.jp/vocational/Field-26/content.php | 2023年4月 |
| 8 | 進路サポートセンター | 進路サポートナビ | https://www.shinro-n.jp/school/72/ | 2023年4月 |
| 9 | ライフマップ(無償) | コレカラ進路JP | https://korekarashinro.jp/school/OSAKAKAWASAKI | 2023年4月 |

2024年度
情報誌への掲載

| | 会社名 | WEB・雑誌名 | タイトル | 発行年 |
|---|--------------|--------------|----------------|----------|
| 1 | リクルート | 進学事典 | 4月 | 2024年3月 |
| | | 進学事典 | 12月 | 2024年12月 |
| | | スタディサプリ受験 | | 2024年4月 |
| 2 | フロムページ | テレメール進学カタログ | 新学年スタート号 | 2024年4月 |
| | | | 志望学部学科決定 | 2024年4月 |
| | | | SELF BRAND | 2024年4月 |
| | | | 入試直前激励号 | |
| | | | 大学受験いざ挑戦！ | |
| 3 | マイナビ | マイナビ進学ガイド | 学校情報号 | 2024年5月 |
| 4 | キッズ・コーポレーション | 西日本版 | 春のオープンキャンパスブック | 2024年2月 |
| | | 近畿版/東海版 | 進学の森 | 2024年4月 |
| | | 近畿版 | オープンキャンパスブック | 2024年6月 |
| | | 近畿・四国・中国版 | 進路計画 | 2024年9月 |
| 5 | JSコーポレーション | 大学情報 | 進路徹底研究 | 2024年12月 |
| 6 | 進研アド | マナビジョンブック | 学問発見ナビ | 2024年6月 |
| | | | 大学発見ナビ | 2024年1月 |
| | | | 高校生スタート号 | 2024年3月 |
| 7 | ケーホウ | 看護医療系ガイドブック | Vアクセス・スタート号 | 2024年3月 |
| | | 看護医療系ガイドブック | Vアクセス・受験準備号 | 2024年8月 |
| | | 進学のためのガイドブック | 推薦・AO入試編 | 2024年5月 |
| 8 | さんぼう | 近畿版 | 大学・短大まるわかり事典 | 2024年4月 |
| 9 | 進路サポートセンター | 進路サポートブック | | 2024年4月 |

進学情報サイトへの掲載

| | 会社名 | サイト名 | URL | 掲載年月 |
|---|--------------|---------------|---|---------|
| 1 | リクルート | スタディサプリ進路 | https://shingakunet.com/gakko/SC004796/ | 2024年3月 |
| 2 | フロムページ | テレメール進学サイト | https://telemail.jp/shingaku/university/10001081/request | 2024年4月 |
| 3 | キッズ・コーポレーション | 進学ナビ | https://www.shingakunavi.ne.jp/ | 2024年3月 |
| 4 | マイナビ | マイナビ進学 | | 2024年3月 |
| 5 | 進研アド | Benesseマナビジョン | https://manabi.benesse.ne.jp/daigaku/school/3671/index.html | 2024年3月 |
| 6 | ベスト進学ネット | ベスト進学ネット | https://www.best-shingaku.net/daigaku/school2249/ | 2024年4月 |
| 7 | ケーホウ | ONLINE学校紹介版 | https://kehouschool.jp/all_schools/content.php?ID=1005 | 2024年4月 |
| | | ONLINE分野紹介版 | https://kehouschool.jp/vocational/Field-20/content.php https://kehouschool.jp/vocational/Field-21/content.php https://kehouschool.jp/vocational/Field-26/content.php | 2024年4月 |
| 8 | 進路サポートセンター | 進路サポートナビ | https://www.shinro-n.jp/school/72/ | 2024年4月 |
| 9 | ライフマップ（無償） | コレカラ進路JP | https://korekarashinro.jp/school/OSAKAKAWASAKI | 2023年4月 |

教 員 名 簿

| 学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等 | | | | | | |
|---------------------|-----|-------------------------------|----|-----------|---------------|------------------------------------|
| 調書 番号 | 役職名 | フリガナ 氏名 <就任(予定)年月> | 年齢 | 保有 学位等 | 月額基本給 (千円) | 現 職 (就任年月) |
| 1 | 学長 | タケダ マサトシ 武田 雅俊 <令和2年4月> | | 医学博士 | | 大阪河崎リハビリテーション大学学長 (令和2.4~令和8.3) |